

凌泳会総会議事録

日 時 平成4年5月16日 午後1時より
場 所 六甲台 教官食堂

新緑香る六甲台において平成4年度凌泳会総会を開催、本年は総会后、創部70年を記念して、第3回全国大会が計画されているため、小山会長始め多数のご出席を得て盛大に開催された。

[議事]

- 1, 平成3年度経過報告並びに会計報告
- 2, 平成4年度行事予定並びに予算案審議
- 3, 役員改選

かねてから高齢を理由に引退をもらしておられた小山会長が、本年の創部70周年を期に辞任を表明された。現在もマスターズ競技会において現役選手として泳いでおられるほどの元気な会長だから、今暫く留任をお願いしたが、たつてとの強いご要望でやむををえずその方向で考える事とし、幸い吉野副会長が次期会長をお引き受け頂く事となった。

又、山口宗樹副会長も幹部若返りのため辞任を希望され、副会長の後任として関西は岡本忠男氏(昭17学)、関東は田淵五郎氏(昭30営)をお願いする事とした。

監事として永年ご尽力頂いた伊藤英二氏(昭13学)も引退され、代わって小原祥男氏(昭29営)にご就任頂く事となった。

更に本部幹事として佐藤一夫(昭30法)、萩原 武(昭37工)の両氏に加わって頂き執行部の強化を計った。

支部幹事としては平成3年10月お亡くなりになった大内義仁中国支部長に代わって今井政一氏(昭24専)が、又、関西支部では会長となられる吉野支部長の後任として佐藤一夫氏に就任頂く事とし、更に酒井正人氏(昭53農)に支部幹事として新たに加わって頂く事にした。

以上の人事を総会に提案、何れも満場一致で可決された。

この後、新旧会長のご挨拶を頂き、引き続いて現役学生部会の報告、部員紹介等ありすべての議事を終了した。

凌泳七十年記念 全国大会

幹事（昭37工）萩原 武

神戸ポートアイランド博に合わせて開催された前回からほぼ10年の月日を数え、凌泳70年史が刊行されるこの機会にぜひ全国大会をやるのではないかと、と言う声が平成3年の総会の席で持ち上がった。

神戸大学90周年記念行事も予定されている由、遠路足を運んで頂くのに相応しい大会が出来そうな雰囲気だけは醸し出された。

その後時間だけは確実に過ぎていくものの、一向に具体的な準備活動につながらず、とうとう年が明けてしまって初泳ぎの日、腰椎ヘルニア手術後の体をおして顔を出された石井義章氏（学22）は「もう今からだと、やれるとしても秋以降かなあ」と漏らされるに至ってしまった。

前年秋に七十年史は刊行されており、大学の90年記念行事も5月の開学記念祭に合わせて計画されている。

このタイミングを外してしまったら全国大会の意味が霞んでしまうばかりか、参加者も得られなくなるとの危機感でやっと実行委員会が動き出した次第である。

残された時間は4ヶ月、まがりなりにも開催にこぎつけることが出来たのはイベントの企画・推進にかけてはこの人の右にできるものはいないと言える富岡道雄氏（B4）の采配と酒井君（A26）、金君（E31）、加地さん（J36）、村上さん（P37）ら若手諸君の新鮮なアイデアと献身的な奮闘の賜物であって、まさにきわどい綱渡りであった。

5月16日当日、朝から現役諸君に会場設営を手伝ってもらい、1時からの総会を1時間で切り上げて3時からの総会に臨んだ。

お天気にも恵まれ、三宮駅に隣接した神戸交通センタービル9階の港蘭館には、会員が80名、来賓・招待者が10名、現役40名総勢130名の参加者が集まり予期以上の大盛会となった。

1時間前の総会で就任されたばかりの吉野会長は挨拶の中で大学および関係各位への感謝と、新時代にあった凌泳会の運営への決意を述べられた。

次いで七十年史刊行経過報告が三宅委員長から行われ、3年に及ぶ苦勞が偲ばれた。

来賓の方々からはそれぞれに味わい深いご祝辞をいただいた。鈴木学長と水泳部長の犬童教授とは大学90周年記念行事と重なり残念ながら御出席頂けなかったが代わりに竹内学生部次長と小林同掛長のご来賀を賜った。

兵庫県水泳連盟の松尾会長も駆けつけてくださった。

大阪市立大学恒泳会からは岩橋会長と進藤氏のご出席を頂いた。

一橋大学水泳部OB会からは清川会長から祝電をいただくと共に、在阪OB2名のご出席を頂いた。喜びも悲しみも共に味わってくれた応援団からも元気者2名が馳せ参じてくれた。

そして若手OBと現役の心のふるさと「鳥由」のマスター 金沢氏は店を閉めてかけつけてくれた。

凌泳会を温かく包んでくださっているこれら多くの皆様方に改めて感謝申し上げる次第である。

82名を数える物故者に黙祷を捧げた後、岡本副会長の音頭による乾杯で会はいよいよ佳境に入った。

富岡氏のご配慮で破格の価格で豪華なバイキング料理とふんだんな飲み物がテーブルに並び、130名の人の熱気とで会場はいやがうえにも盛り上がった。

過去の栄光の証しである数々のカップ、トロフィー、楯そして青春の記録である練習日誌、70年の歴史を見守ってきた新旧部旗。山口八郎氏が残された河童旗。

並べられたこれら思い出の品々に触れ、各人それぞれに思いに浸り、語り合った。

5年ごとに区切ったグループでの自己紹介。

再年長組は小山前会長を囲んだ学部1回、昭和7年卒の草野、山田、古賀の各氏。

本会の歴史を体現する嬰鑠たる大先輩に接し、新たな力を鼓舞される思いであった。

そして締めくくりは平成4年卒の新制40回新会員を囲む若いエネルギーの爆発。

さまざまな思いと感動とを織りなしつつ時間は過ぎて行き、一次会の終わりをつげる乾杯の時は余りにも早くやってきた。

田淵副会長の音頭で次の再開を約して、名残を惜しみつつ乾杯し思い思いに散会した。

数々の不手際にもかかわらず盛会裡に今大会が終えられたことを心から御礼申し上げますとともに、記念事業として、TVカメラ/ビデオセットを水泳部に寄付させていただいたことをご報告申し上げて結びとしたい。 以上

「凌泳七十年史」刊行事業収支報告（続報）

本誌前号（平成4年度号）に平成4年2月26日現在の収支状況を掲載しましたがその後送金いただいた方もあり、ここにその続きをご報告いたします。

前回報告帳尻

収入の部	4,067,646
支出の部	3,826,244
差引残額	241,402

平成4年2月27日以降収支

[収支の部]

基金拠出金	70,000
北条貞夫（追加寄金3万円）、大野知恵 太田久美子、井上達晃、奥村直樹、	
寄付金（岩永 威）	5,000
預金利息	1,957

[支出の部]

郵便振替手数料	270
差引残額	318,089

上記の残額を有意義に使いたいと種々検討の結果、①創部70年を記念して山口八郎氏のデザインになる河童の顔（由来は凌泳七十年史204頁「カッパ誕生」参照）のタイタックを作る、②凌泳会団結の象徴として「凌泳旗」を作る事としました。①は350個作り基金拠出者に感謝の気持ちを込めお贈りし、また、50個を凌泳の伝統を何時までも伝えてくれることを願って、現役部員に贈呈しました。②は神戸高商以来のスクールカラーである煉瓦色の地色に前記河童の顔と凌泳の文字を染め抜いたもの2流を作りましたので、関東、関西に配置し総会、支部大会、或いはマスターズ競技会等の会場に掲げて頂きたいと思っております。

記念タイタック製作費（350個）	222,480
凌泳旗製作費（2流）	41,200
郵送費（タイタック他）	38,284
タイタック売上（25個）	+ 25,000
差引残額	41,125

以上の通り残額は最終的に41,125円になりましたので、これを凌泳会一般会

計に繰り入れました。以上を以て本会計を締め切らせて頂きます。会員各位のご協力に厚く御礼申し上げます。有り難うございました。

「凌泳七十年史」編集委員会一同

宮本伯夫兄の死を悼む

昭9学 板野 亀八郎

昨平成四年十一月二十九日兄は川鉄千葉病院で腎不全のため逝去した。

十二月三日千葉市中央区のライフケア千葉会堂で行われた通夜は、多数の弔問客に溢れ、故人生前の人柄を偲ばせるのに十分なものであった。

神戸高商が、神戸商業大学に昇格して間もない昭和六年四月、上筒井の古びた寄宿舎にはいったところ、聞きなれた広島弁を、大きな声で響かせている同じ新入生に出会った。それが宮本兄だった。

当時から六十余年経った今も猶、ハッキリ私の脳裡に刷り込まれている宮本兄の印象は、とにかく大変な『頑張り屋』と言うことである。

中学時代から一応水泳の選手ということになっていた私は、神商大に入学すると迷うことなく水泳部に入り、そしてその昔防火用貯水槽という名目で造ったといわれる小さな二十五米プールで、寒い季節以外は毎日欠かさず泳いでいたのだが、或るとき、兄が一寄宿舎でよくマージャンをガチャガチャやっているのは眼にしたことがある兄が一プールにやってきた。そしてどうしたはずみかその折のいきさつは完全に忘れてしまったが、気がつくとなりのコースを兄が泳いでいるのに気がついた。

並んで泳ぐと、とくにはじめての人とならんで泳ぐとなると、どうしても、無意識のうちにお互い競争心が湧いてくる。実力さして香ばしからずとはいえ小生は、レッキとした水泳部員、彼はどの運動部にも属してなかったと思うし、又その時の泳ぎそのものも決して滑らかなものではなく、肩から上腕部にかけては随分と余分な力がはいつていることがよくわかったので、そのうち疲れて、遅れてしまうだろうと内心タカをくくっていたところ、どうしてどうして兄は三〇〇米過ぎても、四〇〇米過ぎても、頭一つ先にいっていて、大変苦しそうな泳ぎながら、どうしても抜き切ることができず、ついには逆に私の方が力つき、彼をして名を成さしめる結果となってしまったのである。

兄は素直に大喜びだった。その時の『どうじゃ、わしは水泳部の奴に勝ったゾー』と勝ち誇った彼の顔つきが今もアリアリと、昨日のここのように眼に浮かぶ。

とにかくそれ以来兄には頭が上がらなくなってしまった。

昭和九年四月神戸商業大学を了へて社会人になってどの位時日を経てのことかハッ

キリしないが、人伝てに『宮本が川鉄にスイミングプールを造った』という噂を耳にして、またしてもやられたと一本とられたのを感じたのだが、そうか、あの例の頑張り、と、広島弁丸出しの説得力が、この大きな成果をものにしたのだなと、自分なりに納得したことを思い出す。

企業が社内に社員のための体育施設をつくることは、今では珍しいことではないが、六十年も昔の当時としては、むしろ破天荒のことではなかったろうか？

六甲の新しいキャンパスの総合教室で卒業式を終わった後、私は二度の応召と、勤務先の船会社の仕事とで、合わせて十四年位日本を離れており、紫竹会はじめ学校の同窓会とは甚だ無縁に過ごして来、久し振りに宮本兄の名前を耳にし、又会ったのは、川崎製鉄が千葉への進出を決定し、当時法皇の異名をとっていた日銀の一万田総裁が千葉にはべんべん草が生えるだろうと川鉄西川天皇の大計画にケチをつけていた頃であるが、宮本兄はこの川鉄の千葉進出の仕事に関わっており、大変忙しい頃であったと思う。兄の粘り強い『頑張り』はここでも亦大いに発揮されたことは間違いあるまい。

最近東京紫竹会にもあまり顔を見せず、兄が入院していたことも知らず、兄の逝去はまことに突然で、全く思いもかけぬことであった。

あの世へ行っても、あの大きな声で、広島弁で頑張っているのだろうか？

改めて深く深く哀悼の意を表しご冥福を祈ります。

合掌

濱川廣海君を悼む

昭27学 石井義章

君が脳梗塞で倒れたと田淵五郎君（昭30B）から知らせを受けたのは昨年（平成3年）10月のことであった。折しも「凌泳七十年史」編集の最後の追い込みにかかり、気になりながらも水泳で鍛えたあの強靱な肉体と、しぶとい根性を持つ君のことだからきっと元気になってくれるものと信じていた。

11月にはいって我々同期を代表して山本幸雄君（昭27学）がお見舞いに行ってくれたが、まだ意識が戻らないとの事であった。榊原修造君（昭30B）からは時々病状の経過を知らせていただいたが、3月頃になってやっと不自由ながら筆談で意思の伝達が出来るようになったと聞き一安心した矢先、思いがけず肺炎を併発し平成4年5月9日ついに帰らぬ人になったという。享年65歳であった。

ご葬儀には凌泳会を代表して山本、小原祥男（昭29B）、田淵、榊原、の諸君が参列し最後のお別れをしてくれた。

君は卒業後日産汽船に入社し、数年して日産船舶に転じたが昭和39年12月全国内航輸送海運組合に事務局長として出向した。昭和54年9月前職を辞し、自ら広隆

産業（株）を興し商戦場に雄飛した。この間、君は何故か予科のクラス会にも、あれほど情熱を傾けた水泳部の集いにも殆ど顔を出してくれなかったのは我々にとって寂しいことであった。

思い返せば君とは昭和20年神戸経済大学予科の六回生として入学した。間もなく終戦となり秋から授業再開、21年夏には中井三郎、西岡良宏と共に予科水泳部に入部した。この4人は昭和24年、学部が上がってはゼミも同じ田中薫先生の門を叩き、更に山本幸雄を加えて27年の卒業までまさに寝食を共にした。

君は多才の人であった。戦後の一時期、進駐軍の通訳をしていたとかで英語が堪能で、確か新庄先生の経済原論の試験だったと思うがレポート用紙数枚を英語で記述したと涼しい顔をしていた。又音楽にも造詣深く、松蔭女学校のプールを使わせて貰っていた頃は練習開始前の一時、講堂のピアノでショパンのノクターンなどを弾いていた姿が今も目に浮かぶ。県下の高校を糾合して大音学会を企画し、挫折した苦い思い出も今は懐かしい。一方その頃はやり出したパチンコと漫画が大好きという無邪気な一面もあった。

しかし君を語るとき忘れることができないのは水泳である。君は水泳王国「高知商業」の出身で、あの苛烈な戦争中にも競泳の訓練を続けていたらしい。21年の夏、進駐軍に接收されることの決まった六甲台のプールの底に、僅かに残った水溜まりでクロールのビートの打ち方、手の掻き方、それも長距離と短距離で打ち込む角度が違う等、競泳の手ほどきを受けたものだ。私などは水泳にもそんな理論があるのかと只ただ驚くばかりであった。

母校のプールが使えなくなり、やむなく神戸市内の諸学校のプールを借り歩くジブシー練習となった折でも、君は自ら練習メニューを作り一人黙々と水と取り組んでいた。

昭和26年は主将と言う大任を背負い部の統率、運営にも気を使い、郷里高知での遠征合宿も実現させた。そんな中で君は「全日本学生選手権大会」に個人出場し50m自由型で、25年26年と連続制覇の偉業を成し遂げた。ことに26年の記録26.6はその年の日本ランキングのトップを飾るものであった。今でこそこのタイムは女子の中学生でも出すが、あの頃の社会情勢、食糧事情を思えば立派なものであった。君にして十分な練習環境と指導態勢があればオリンピックも決して夢ではなかったと思う。

とまれ恵まれぬ環境の中であれだけの成果をあげ、関西に濱川あり！神経大に濱川あり！と一時代を画したことは特筆大書さるべきである。今でも古い水泳人と話していると「濱川はどうしている？」と必ず君の話が出る。

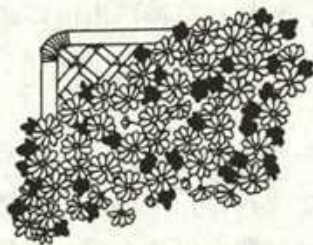
我が水泳部に歴代十傑表がある。そのほとんどが新制になってから書き替えられて

いる中、君が40年前に作った自由型の50m=26"6（歴代3位）、100m=58"8（歴代8位）の記録はいまも燦然と輝いている。

君よ、三途の川原で甲羅でも干して待っていてくれ、我々もやがて行くから、赤い禪しめて又一緒に泳ごうではないか。

合掌

（備考）本文は先に「凌霜」316号（1992年8月発行）に掲載されたものを「凌泳」向きに加筆修正したものです。



会員からのお便り

凌泳総会案内状返信より



- 犬童 一男 (特) 先日、お出での節は不在で大変失礼いたしました。今回、大層ご返事が遅れて申しわけありませんが、実は当日出身高校の卒業40周年同窓会があり、鹿児島にいきますので出席できません。プール等の問題については、後日三宮KISCあたりでお話をうかがいたいと思っております。適当なときに電話でご連絡いただければ幸いです。
- 岸 橋 夫 (特) 総会、全国大会の御案内を頂きましたが、当日は先約の会があり、欠席いたします。御参会の皆様によろしく。御盛會を祈ります。
- 川北 正 善 (大13高) 健康に生活を楽しみ過しております。だんだん視力が弱くなりました。
- 三井 栄三郎 (大13高) 御盛會を祈ります。この9月で満90となりますが、泳いでばかりいて勉強を怠っていたせいで、尚元気で週一回以上はゴルフを続けております。一日二、三時間はセッセッと歩くのが私の職業です。皆さんのご健康をお祈りします。
- 木村 芳 雄 (大15高) 私、お陰様で何の故障もなく、88才の米寿を祝いました。毎日曜、祭日にはhillyなコースの富士カントリークラブでゴルフを楽しんでいます。現在、日本一の長寿ゴルファーなので健康に留意して、何才までゴルフが続けられるか試してみたいと思っています。
- 植木 實 就 (昭6高) 御案内有難く拝見致しましたが、老化が進み旅行は困難となりましたので、残念欠席致します。皆様の御健勝をお祈り致します。
- 草野 嘉 一 (昭7学) 世話人ご苦労様です。総会は失礼し、全国大会にのみ出席させていただきます。
- 坂野 龜八郎 (昭9学) 今回もまた欠席で相済みません。この返事を書いている今の彼岸の入りの寒さが一人身にこたえた事も欠席を決めた一因かも知れませんが…。ここ数日、イヤ一週間位体調が思わしくなく、これまでの自信が揺らいでいます。一病もっていてもマダマダ大丈夫と思っていたのに一寸不安です。総会、全国大会共盛會でありますように祈念致しております。
- 池谷 俊 一 (昭10学) 元気で暮らしていますが、歩行困難の為1人で外出は困難です。散歩をしてリハビリしています。
- 古賀 克 巳 (昭11学) 会社勤務を解放されて丁度1年、いよいよマスターズ水泳のシーズンとなり、皮切りの神戸大会も近づきました。週2回のS.S水泳も定着して、サボると具合が悪いようです。今年も既に2月の札幌大会に出ましたが、全国は九州でとのこと、喜んでます。元気な間は出場したいと望んでいます。何かとよろしくお祈りします。
- 太田 正 元 (昭13学) 凌泳七十年は大業でした。七凌泳会の水泳部員は伊藤君と私の二名だけとなりました。インシュリンを打ちつつ、吾、喜寿を迎ひぬ、最近の心境です。
- 中村 市 治 (昭15学) 諸兄の健康を心から祈ります。
- 大西 眞 博 (昭15学) 春霞が山に海にたなびくこの頃と存じます。新年度、新入生の賑わうプールサイド、思うだけで嬉しくなります。今年も水しぶきを上げて頑張ってください。当方も若き日を思い出して生ある限り頑張ります。春となり 空地の雑草の緑色 増して中に黄色のタンポポ咲けり
- 堀部 喜代次 (昭16学) 御案内を当方に迄頂き有りがとうございます。欠席の段ご容赦下さい。皆様によろしく。
- 森 芳 夫 (昭16学) 大分身体の調子も狂って来たのか、疲れるようになりました。何かと頑張っております。
- 山口 崇 樹 (昭16学) こよなく凌泳会を愛しておられた小山会長が途を譲りたいと申し出られたと伺い、大変残念に思いました。役員構成を若返らせて小山精神を継承して頂きたいと存じてます。小生元気ですが、そろそろと考えています。凌泳会の発展を祈ります。
- 前田 寿 (昭16学) “春霞む夢と過ぎたり70年” 凌泳70年の総会、今から楽しみにしています。
- 平井 洋 (昭16学) 旧臘、心臓発作をおこし、医者から酒を2日に1度、1合以内と制限されました。

余り飲みすぎたので神のお告げだったのでしょう。当分節酒につとめます。70年史ご苦労さんでした。ブッシュと同病なれば是非なき寝正月。洋城

- 岡本 慧夫 (昭16学) 学生諸君、元気で楽しい学生生活の中で水泳を通じて意義ある友人を多く作られるよう祈ります。
- 尾上 信三 (昭17学) 返事大変遅れ申し訳ありません。体調不安定なので、その時にならぬと決まりませぬのでお許し下さい。体調が良ければ久し振りに出席したいと存じますが(岡本忠男さんも出席とかなので)その節はよろしく。一応欠席とします。
- 木村 京一郎 (昭17学) 数々の記念を祝し、この全国大会心から御祝い申し上げます。ますます水泳部の今後の活躍を祈念いたします。水泳にはずい分縁遠くなりましたが、昔きたえた身体は丈夫で元気しております。ただ92才になった母の介護でなかなか家をあげられず、いつも失礼ばかりしています。御盛會を祈ります。
- 荻野 茂希 (昭18学) 年の割には元気だと言われています。カメラが趣味で外に出るようにつとめております。暖かくなりましたら又、六甲台で試合があります時に観戦に参ります。今回は欠席しますが皆様によろしく。
- 富中 暁 (昭18学) ヘルスクラブも19年目で水泳とサウナに励んでいます。泳ぐにしても歩くにしても近年「始動」の時間が必要となりました。エンジンがかかればあまり変りはないようです。皆様の御健康と凌泳会益々の発展を祈り上げます。
- 山川 初雄 (昭18学) 前略、学生諸君。来るべき三商対戦には競泳、水球ともに優勝を目指し、練習に励んでいただきたい。敬具
- 井上 清 (昭19学) 総会、全国大会との機会ですが、当分都合がつきかねます。欠席で済みません。
- 石川 七郎 (昭19学) S61年より脳梗塞による後遺症のため療養中です。
- 君塚 英男 (昭19学) 透析で月水金をついやして居ます。泳いでもいいそうですが、浮くかどうか、こわくて全く御無沙汰です。
- 稲垣 信夫 (昭20学) 元気で未だ現役です。皆様によろしくお伝え下さい。
- 山内 利男 (昭20学) 今年も1月中旬から3月上旬までの二カ月の間に3回のインド出張を重ねています。駐日インド大使の手配で、インド国会の傍聴や政策集団との討議をして来ました。
- 石井 喬 (昭21学) 6年前に肺癌手術を行いました。お陰様で元気に、毎日東京へ通勤しております。5月中旬～下旬、海外旅行予定のため欠席、関東凌泳会のゴルフコンペも残念ながら欠席です。
- 今井 政一 (昭24学) 最早すべてにリタイアの年になっていますが、なかなか許して貰えず頑張っています。凌泳70年の歴史を戴き懐かしい方々の名前を見出し過ぎた当時を思い出して居ります。お集まりの皆様にも宜敷くお伝え下さいませ。
- 佐脇 鷹平 (昭25学) 皆様お元気で活躍のこと大慶に存じます。相変わらず東京勤務で六甲台が一番近いところに住んでおりながら都合がつかせません。来年からは大丈夫でしょう。
- 西岡 良夫 (昭27学) 久し振りに出席させて貰います。
- 石井 義章 (昭27学) 全国大会の御準備御苦労様です。多数の会員が集まれ盛會になりますよう祈っております。(近況)三年越しに悩まされた腰痛を昨年11月手術、目下リハビリ中ですが、何とかうまくいったようで、初夏にはゴルフも出来そうと喜んで居ます。
- 山本 幸雄 (昭27学) 昨年7月現役を退き、囑託として「国際化に対応できる人材育成」のプログラムづくりに従事しております。富士ゼロックス在勤26年のうち15年余を海外勤務した経験を生かしてとのことでしたが、私はやはり現地の人々と接しながら仕事をしている方が適していると改めて考えさせられています。総会、全国大会には欠席で申し訳ありませんが、会の盛會をお祈り致します。
- 中井 三郎 (昭27学) 毎日元気で会社に出勤しておりますが、最近ゴルフや夜の接待等で疲労が翌日まで残るようになりました。そこで週三回は体力をつけるため、泳ぐように心がけておりますが、なかなか思うようには行けない現状であります。
- 佐藤 一夫 (昭30法) 昨秋、2年半振りにNEW YORKから帰任しました。内地ではノン・バンク・バンクの業種柄、バブル不況の真っ最中ですが、小生も今年で漸く還暦とて仕事も楽になる見込みです。できるだけプールに顔を出そうと考えています。5月には会員の諸兄に再会できることを楽しみにしています。
- 堂本 直正 (昭30工) 久し振りの全国大会なので晴天に恵まれ多数の方にお会い出来ることを楽しみに

しております。席上、年会費の払込み人数をふやす検討をしていただきたいと思います。御行事の実行委員の方にはご苦勞様です。厚く御礼申し上げます。3/20記

- 冨岡 道雄 (昭31營) いつも御世話になります。できるだけ多くの方に出席していただき盛会にしたいものです。
- 松田 司朗 (昭32法) 本年6月全日本マスターズ名古屋大会には参加したいと思っています。
- 高橋 靖周 (昭33経) 所用のため出席できず、残念です。昔水泳で鍛えられたお陰で身体はどうやら丈夫で、元気でやっております。皆様によろしくお伝え下さい。ご盛会を祈念いたします。
- 岡村 司 (昭34法) 毎回欠席ばかりにて申し訳ありません。御来会の諸先輩、諸兄に御詫び申し上げます。
- 栄川 泰介 (昭34経) 昨年よりボルネオに工場を兼松と合弁で建てました。4月中旬操業を始めます。当分現地に滞在する事となり、又々出席出来ません。
- 河村 雁彦 (昭34法) 現在東京にて単身赴任生活をしています。
- 山本 哲弘 (昭34營) 欠席で申し訳ありません。皆様によろしくお伝え下さい。
- 永野 一彦 (昭35経) どうしても抜けられない所用があり、残念ながら欠席します。皆様に宜しくお伝え下さい。
- 村岡 英樹 (昭35營) 岡田さん、いろいろご苦勞さまで。仕事も頑張っておられる由、またそのうちに会いましょう。息子(長男、関大4年、留年)貴社就職の件たのむかもしれません。
- 杉岡 孝一 (昭35營) Aug'91より弊社マニラの合併会社(Columbian Motors Corp)へ出向しております。皆様によろしく。
- 酒井 孝栄 (昭36経) 大阪に戻って二年、すっかり関西人となって参りました。最近泳ぎも忘れたなんとやらで旧々平凡に過ごしています。凌泳会出席は誠に久しぶりですので皆様にお会い出来るのを楽しみにしています。幹事各位に感謝致します。
- 井上 隆史 (昭37營) ごぶさたしております。先日名古屋に新しい温水プールが出来て、オリンピックの予選が行われたので、見学を兼ね応援に行きましたら、切符は全部売り切れで入場できませんでした。こんなことは古橋、山中以来皆無のことではないかと思ひます。強い新人が多数いるせいでしょうか。皆様のご健闘をお祈り致します。
- 萩原 武 (昭37工) お世話様です。24日18時30分またよろしく。
- 岡田 重義 (昭37營) 世話をお願いした会員、学生の皆さんには大変苦勞を掛けますが、よろしく力添え願ひます。
- 高岡 保宏 (昭37教) ごぶさたしています。いつもお世話ありがとうございます。今年度は職場がかわるとの関係を得ている。新職場での予定が今のところつかないので一応は欠席とさせていただきます。都合がつけば全国大会には参加したいと思っています。どうぞよろしく願ひます。
- 山田 貴彦 (昭37経) 前略 3月末に日本開発銀行を退職し、かねて出向中の国際証券㈱に勤務することになりましたが、4月1日付をもってスイス法人のココサイ・スイス(在チューリヒ)に赴任することになりました。凌泳会皆様様の益々のご発展をお祈り申し上げます。
- 浅間 啓介 (昭37経) 前略 すっかりご無沙汰致しております。水泳も一年以上間隔があいています。仕事が変わり、四日市の工場勤務をしています。先日、大分慣れましたので近所の温水プールを訪ねたところ、改修の為四月初めまでクローズドでした。いずれ始めます。皆様によろしくお伝え下さい。敬具
- 米田 啓祐 (昭37教) いろいろとお世話になります。できるだけ参加したいと思ひ、出席に○をしています。
- 丸山 卓也 (昭38工) 皆様お元気ですか、東京では5月にゴルフのコンペをやるそうですが、全国大会へは行けませんので皆様によろしくお伝え下さい。
- 荒井 康之 (昭38營) 九州支社に4/1付で転勤いたします。永野先輩(三菱商事)の近くに事務所があります。近くにおいでの際は御一報下さい。
- 窪田 信雄 (昭38法) いつも御無沙汰致しており、誠に申し訳ございません。皆様の御活躍をお祈り申し上げます。
- 安茂 弘 (昭39工) 都合が悪く、出席できません。よろしく願ひ致します。マスターズ水泳大会をめぐしてがんばっています。

- 武政 英 幸 (昭39營) 返信遅れてご迷惑をお掛けします。ギリギリまで待ってみました。欠席となりました。ご盛會をお祈りします。小生が事務局を引受けておりますマスターズ水泳の100歳登録者は現在39名の大所帯となり、短水路、長水路の全国大会をはじめ年齢相応の水シブキをあげています。
- 鈴木 正 弥 (昭39経) 本部幹事皆様のお力で凌泳会の開催に至ったこと喜んでおります。是非共、出席させて頂き、久し振りに現役諸君のお顔をみせて頂くと共にOB諸氏と歓談できることを楽しみにしています。
- 滝 沢 章 三 (昭39工) 千葉市が政令指定都市になったとかで、住所の表示、電話番号が変わりました。よろしく御処理下さい。当日、何かと出張を引っ掛けようとしていますが、目下不首尾です。
- 丸 山 昱 也 (昭40工) 御苦労様です。「枯木も山のにぎわい」で参加します。
- 前 田 和 秀 (昭40法) 大変ごぶさたしています。一度総会に出席したいと思いますが、なかなか大阪方面への出張がありません。御出席の皆様によろしく。
- 中 畑 勝 明 (昭41營) 返事が遅くなり申し訳ございません。当日は出勤の予定のため、凌泳会総会に出席できません。出席の皆様宜しくお伝え下さい。近頃は水泳とも段々と縁遠くなり、年に数回泳ぐ程度になりました。
- 宮 部 高 博 (昭42文) 凌泳70年史ご苦労様でした。楽しみに少しずつ読んでいます。総会等には多分出席出来ませんが、皆様によろしくお伝え下さい。もう少しで50才という時期になり、体力にやや衰えを感じますが、一応元気にやっています。
- 玉 置 明 (昭45経) 毎日、忙しくやっておりますが、元気一杯です。もう少し泳ぐ時間があれば良いのですが、今回も欠席で誠に申し訳ございません。
- 井 上 史 朗 (昭45營) 千葉県房総半島を担当しております。東京湾横断道路、幕張新都心等、伸びゆく千葉県です。東京に来て10年になりますが、今しばらくこちらにいそです。
- 岩 切 博 (昭46理) 体力の衰えを感じるようになって久しくなりますが、最近千葉の奥地に引っ込み通勤に苦労しているこの頃です。週3回程行っていた水泳もままならず、今年のマスターズは期待薄です。
- 藤 井 元 洋 (昭48教) 今年の1月、大曲君の葬儀に参列し、卒業後初めてなつかしい顔を見ることができた。今だに元気な彼が亡くなったなんて信じられないが、彼の葬儀でもなければ、同輩に会えなかった(もう大曲君には会えない)自分自身の怠慢に恥じ、総会に誘い会わせて出席することに決めた。
- 佐 敷 定 雄 (昭49農) 週2回泳いでいるが、体調良好なるも何か年齢を感じる時がある。無理をせず生涯水泳をめざして頑張っております。現役諸君の活躍を期待しております。
- 家 本 博 一 (昭50経) しばらく御無沙汰致し、申し訳なく存じます。“六甲台のカップ連”が一層御活躍なされんことを祈念しております。
- 藤 森 一 男 (昭51工) 久しぶりに出席させていただきます。
- 野 田 叔 子 (昭51工) 総会にお集まりの皆様によろしくお伝え下さい。
- 平 石 康 (昭53教) 卒業前であわただしく時をすごしています。何回やっても卒業生を送り出すのは感動します。さて、2月にはじめてフルマラソンを完走しました。記録は4時間44分、私にとっては上出来です。これからはフルのトライアスロンに目標を切りかえたいと思っています。マスターズ(水泳)の方は当然休んで、自転車をがんばろうかなと思っています。
- 酒 井 正 人 (昭53農) 趣味が多くて困る毎日を送っています。水泳をはじめ、マラソン、自転車、中国語にも未練が残り、細々と学習を継続しています。また今年から日本語教師の通信教育も受けています。
- 木 下 修 一 (昭53教) まだ2カ月先のことでありますので明らかではありませんが、土曜日は私のところは休日になっておらず、昔ながらの半ドン勤務のため出席できそうになく、欠席の返事をさせていただきます。私の休日は月に1-2日、それに盆・正月休みがそれぞれ2-3日ずつというところで、カローシバターンであります。私個人は適度のジョギング・スイミングで気分転換・体力健康保持につとめています。
- 星 合 正 子 (昭53理) 残念ながら出席できませんが、ご盛會をお祈りいたします。
- 後 藤 信 人 (昭54營) 長らく御無沙汰しております。「凌泳40号」9月に当地にて入手、懐しく読ませて頂いています。後日、こたらの水泳生活の様子を次号凌泳に寄せ、送付させて頂く所存です。あと2年程、駐在が続きそうです。大曲先輩の御逝去に合掌。
- 土 井 祐 二 (昭55法) 住所が少し変わりました。東京のド真ん中で仕事の忙しさとレジャー参加への便利さとのハザマでウーン苦しんでおります。

- 土井 紀子 (昭57教) 出席できず、申し訳ありませんが、どうぞ宜しくお願いします。
- 上田 剛弘 (昭56営) 昨年末からのダイエットが見事成功、学生時代の体重に復帰しました。とはいえ筋力の衰えは隠すべくもなく、これからじっくり泳ぎ込んで体力も学生時代とまではいかなくともマスターズに恥じない記録を出せるようになりたいものです。
- 後藤 芳光 (昭57経) 平成4年2月に次女が誕生し、子守りが大変です。
- 藤田 弥門 (昭57準) ご返事が遅くなり申し訳ございませんでした。東京勤務時代に会社のラグビー部にも所属しておりましたが、今年4月に神戸工場(西区)がOPENし、また練習に参加することになりました。夏の水泳シーズンのため基礎体力作りにと思っていますが、30才を超えてのラグビーでは泳げるだけの体力を残すような練習をしたいと思えます。
- 長谷川 泰造 (昭58工) つくば市にきて、早や一年が過ぎました。最近はたまに温水プールで泳いでいます。
- 山本 徹 (昭58工) お元気ですか、私の方は近々沖縄に転勤になります。
- 杉野 誓・美奈 (昭58工) 東京と関西の往復で忙しい毎日です。
- 久保田 勝己 (昭59経) 3月23日長女絢子が生まれ、僕も父親となりました。現在マンハッタンに仮住まいのため、水泳はご無沙汰しております。尚、4月1日付にて勤務先が変わりました。
- 金 一波 (昭59経Ⅱ) 30才を過ぎると1年1年があつと言うまに過ぎていきます。つい最近まで六甲台で泳いでいたような気がしますが、中年太りの腹を見るたび、ため息をついている今日この頃です。
- 山野 和則 (昭59農) 8~9月くらいまでハードな運動はドクターストップがかかっているため全く泳いでいません。またマスターズに向けて泳ぎたいものです。
- 呉竹 正人 (昭59法) 会社水泳部、身障者水泳クラブの仕事で追い回されています。
- 谷水 利行 (昭59法) 2月28日に長男大祐が誕生し、2児のパパになりました。
- 浦野 敏明 (昭60営) 残念ながら、参加できませんが、ご盛会をお祈りしております。
- 楠戸 祐子 (昭60準) 主人は4月1日付で広島県府中市の病院へ転勤となりました。私は6月上旬に第二子出産予定の為、同下旬に引っ越しをするつもりでいます。皆様御無沙汰して申し訳ありません。益々の御活躍をお祈りしています。
- 太田 久実子 (昭61文) 現役の皆さん頑張って下さい。
- 松本 典子 (昭61教) 忙しさにかまけ、いつも勝手ばかりをして、申し訳なく思っています。私は昨年度より加古郡播磨町立播磨北小学校に異動致しました。プールに入るのは、夏の間プール指導の時のみという状態で、体力も衰えてきました。六甲台のプールを懐しく思いながら足を伸ばせないでいます。現役の皆さん、今年も頑張って下さい!!
- 原田 久富美 (昭62農) 長かった学生生活が終わり、とうとう社会人になります。
- 中塚 泰弘 (昭63農) 毎日チーズにまみれて仕事をしています。連日チーズばかり食べていると繊維が不足し、ウンコが固くなります。現役諸君の今シーズンの御活躍をお祈りいたします。
- 井口 恵理 (昭63工) 大変遅くなり、申しわけありません。仕事が忙しく、都合で土曜日が出勤することが多いので、もしかすると欠席させて頂くかもしれません。よろしくお願い致します。
- 加地 恵 (昭63法) 5/16の予定が今のところ未定(出勤になるかもしれません)ですので総会は欠席させて頂いたかも知れません。
- 甲野 賢 (平元理) 相変わらずトライアスロンに明け暮れています。仕事も日毎に多忙になり、体にやや無理がきていますが、気合いは一流アスリート、毎朝夕三時間程トレーニングを続けています。愛媛でサメが出没していますが、初夏に同地のレースがあり、一目見てみたいものだと思っているこの頃です。当日は諸先輩方とお会いできるものと楽しみにしています。
- 奥村 直樹 (平元経) 5/31に実家の静岡にて結婚式を挙げる事となりました。
- 郡 幸雄 (平元工) 今年の1月より大阪勤務となりました。試合にはできるだけ見に行きたいと思うので、連絡よろしく。
- 守沖 敦 (平元法) (近況報告) H3.3.2同期マネジャー植原こずえと結婚。11.1新日鉄東京本社に転勤。H4.3.8長女彩誕生。
- 羽瀬 智文 (平2法) 申しわけございません。土曜日は仕事の都合により出席できません。総会・全国大会共に盛会となることをお祈りしております。
- 小島 未央 (平3教) いつも御案内をいただきありがとうございます。出張中であったため、返事が遅

れまして、申し訳ございません。総会当日は、仕事の都合で欠席させていただきます。御出席の皆様によりしくお伝え下さい。

當 麻 尚 正 (平3農) 最近やっと体がついていけるようになりました。この冬はカゼなど一回もひいておりません。後輩の皆様、体が資本です。がんばって下さい。





月見の宴



- 岸 橋 夫 (特) 毎々の御案内有難うございます。当日先約があり、欠席致します。御盛会をお祈りしています。なお、1年前に転宅し、番地が変更しましたのでよろしく。
- 川 北 正 喜 (大13高) 幸い元気に遊んでおります。
- 三 井 栄三郎 (大14高) いつもお知らせ頂き感謝申し上げます。御盛会と皆様の御健勝を祈り上げます。この夏も何とか休まず日曜毎にゴルフを続け過ぎ事が出来ました。これもきっと子供の時からカッパと遊んだせいと思っております。敬具 平4.9.15
- 木 村 芳 雄 (大15高) おかげさまで元気にすごしています。夏は泳ぎたいと思いますが、プールがないから我慢して代りに毎月祭日にはゴルフに専念しています。凌泳会の全国ゴルフ大会を一度東京方面でやってくれませんか。相当集まるのではないのでしょうか。私は日本一の長寿ゴルファーになりました。
- 北 条 貞 夫 (昭6高) 皆様元気で盛会を祈っております。
- 植 木 實 就 (昭6高) 御案内有難うございました。眼、脚、老化。残念ながら欠席致します。皆様の御健康をお祈り致します。
- 小 山 賢之助 (昭7旧学1) 82才より老化現象著しくSurvivalに汲々としています。
- 草 野 嘉 一 (昭7学) 本年1月大腸ポリープ切除の手術で1カ月余入院しましたが、お陰様でその後の経過は順調で平常の生活をしております。ただ恒例の海外旅行は本年は中止、来年から再開したいと思っております。
- 板 野 亀八郎 (昭9学) 8月の暑かったこと、それが9月上旬もつづき、遂に9月11日迄降雨なし。やはり身体にこたえる。政治家の金マミレは毎度のことながらあきれるばかり、それに対しロシア外交の単純さ、我が国に一番欲しいのは、清廉な政治家と、読みの深い外交官…の感深し。
- 古 賀 克 己 (昭11学) 元気でいます。週2回の水泳学校練習を続けています。そしてマスターズ水泳大会をはしごしています。9月13日からの福岡ジャパンマスターズ、23日の奈良マスターズ、10月初めの名古屋大会と予定しています。9月3日からUSA東岸ツアーに参加してニューヨーク、ワシントンなど観光してきました。健康に留意しています。
- 太 田 正 元 (昭13学) どうやら元気でいます。糖尿病ですが…。相変わらず昔の会社の連中と麻雀をやっています。プールでは泳ぎません。疲れて25米も泳げませんので…。
- 大 西 眞 博 (昭15学) おかげさまで無事過ごしています。年々歳々体力は弱まりますが、怪我しないように注意して動いています。学生時代を思い出しながら、特に苦しい時はプールでの練習の苦しさを思い出して頑張りました。皆様の本年度の好成績おめでとう。こけたのも運と笑いつ 首まげて ねばりて走る マラソン男(谷口選手) テレビを見て。
- 吉 野 栄 (昭15学) 元気です。月見の宴たのしみにしています。
- 森 芳 夫 (昭16学) 75才になって大分弱って来た感じです。
- 山 口 宗 樹 (昭16学) 相変わらず元気に暮らしております。水泳の方はマスターズにも参加せず、ぶらぶらしておりますら、とうとう先日、9才の孫に50mで負けてしまい、水から足を洗う時期かと思っております。
- 前 田 寿 一 (昭16学) ちょっと弱り気味です。“秋冷や 歳月のみが癒すもの”
- 平 井 洋 (昭16学) “凌霜”92年5月号のリレー随筆「人生は七十から」の通りの生活をつづけております。
- 尾 上 信 三 (昭17学) 御無沙汰のみにて申し訳ありません。今回も体調のため、欠席させていただきます。来年の皆様のご活躍を、大いに期待しております。
- 岡 本 忠 男 (昭17学) 9月19日は門司にて「明るい社会づくり運動」のチャリティショーが開催され、私は大会責任者のため残念ながら欠席させていただきます。(26日から10月2日までは神戸にいます。) 26日に主将かマネージャーが神戸の自宅に電話下されば幸甚です。
- 木 村 京一郎 (昭17学) 学部12回の同窓会の通知がありました。今年の9月24日卒業50年にあたるそうです。50年色々の起伏がありました。神戸の思い出それは六甲台プールの緑の色です。“ああ青春よ かえら

ばや”今の気持ちです。

- 荻野 茂希 (昭18学) 10年前から仕事はしていません。好きなことをして余生をおくっております。70才を越えてから積極性はなくなりました。それでも週に3日は大阪又は神戸に出ることにしています。現在70才の人の残存余命は80才(男子)ということですので健康に留意して人生の終わりを愉しく送りたいと思っています。今のところ悪いところはありません。ご出席の皆様方によろしく。
- 井上 清 (昭19学) 満70才、倉敷市から敬老記念品を買ったりするにつけても、今の元気は若い時の水泳部の鍛練のお陰かなと思ったりしております。欠席ですみませんが御盛會をお祈りして居ります。皆様に宜しく。
- 神原 正 (昭19学) 年金生活3年、趣味の毎日を楽しんでおります。
- 井川 俊夫 (昭20学) 大変元気に第2の人生をエンジョイしています。キャリアが多すぎて職業や勤務先をきかされると一番困ります。何しろ自由業的講師ですから、言いたい放題、若い人に講義して、飯が食えるのは何よりと人生を楽しんでいます。
- 山内 利男 (昭20学) 今年も6回インドに出張、商用よりも経済セミナーの講師、各委員会の日印会議、国会傍聴、インドの政策集団との討議、国際商工会議理事会、櫻内衆議院議長に同行、セミナーや櫻の寄贈植樹式等々です。
- 三宅 林 (昭21学) 7月からゴルフ場に引っ張り出されています。淡路島にあるので大変です。マスターズの方はなんとかやっています。皆さんによろしく。
- 石井 喬 (昭21学) 肺ガン手術して6年を経過し、体調は良好を維持しております。去年満69才となり、相談役となり、週2回勤務となり、次第に楽になりました。神戸では時々三宅林君、山越君、東京では時々、武内君と顔を合わせます。水泳は腰が弱くなり、浮いているのがやっとの状況です。今回は遠距離でもあり失礼致します。
- 山越 重義 (昭23学) 欠席しますが、皆様によろしく。プールが懐しく時々温水プールで泳いだり歩いたり。
- 今井 政一 (昭24専) 残暑の厳しい今年の夏でしたが、皆様大いに頑張られましたか。小生この9月一杯で社長交替非常勤となる段取りを進めています。多少暇は出来ると思いますが、大いに泳げるといふ余力は残っているかどうか…。
- 大西 繁 (昭25学) 何時も欠席ですみません。
- 石井 義章 (昭27学) 月見の宴の案内有難うございました。当日親戚の法事で欠席いたします。出席の皆様によろしくお伝え下さい。
- 今枝 一 (昭28営) 38年の満員電車(通勤)に別れを告げ目下充電中です。みなさまによろしくお伝え下さい。
- 小原 祥男 (昭29営) 体調をくずしていましたが、大分良くなりました。皆様によろしく。
- 田淵 五郎 (昭30営) 8月末の千葉県大会55才以上の部50m背で、38・83で優勝しました。親友の1人が急死しました。何でも話せる仲だっただけに残念です。会いたい人には絆を大切にしましょう。
- 溝口 汪 (昭30営) 今年で満60才、仕事もひまになるので、再度水泳を始めようと思っております。
- 佐藤 一夫 (昭30法) バブル崩壊の真っ最中に帰国し何ら思いつく有効打もなく、ただ茫然と立ちすくんでいた1年でした。遅ればせながら総会経済対策が打ち出されたものの、わが業界にとってはこれから生き残りをかけた正念場です。今年は久し振りに市大戦、三商大戦をゆっくり観戦しました。金監督の下、競泳、ボロとも戦力の充実ぶりを実感できました。来年が更に楽しみです。頑張ってください。
- 堂本 直正 (昭30工) 当日、子供の事で用あり、欠席とさせていただきます。皆様に宜しく。今年の会費請求の振込用紙未着です。お送り下さい。(幹事さんへ)あまり高額でない会費でなるべく多くのOBから拠出のあるように、そして総入金が多くなるように幹事と現役とでご苦勞願いたく存じます。
- 橋本 力 (昭30工) 本年3月、公立学校を定年退職し、4月から私立滝川高校に勤務しております。
- 松田 司朗 (昭32法) 9月13・14日全日本マスターズ、博多大会に100m、200mフリー、50mバタに出場します。皆様に宜しく。
- 高橋 靖周 (昭33経) 毎年ご案内を頂きながら出席できず誠に申し訳ございません。ご出席の皆様によろしくお伝え下さい。
- 山本 哲弘 (昭34営) 東京在住の為なかなか出席出来なくて残念です。スポーツクラブのプールで時々

は泳いでおります。

- 野田 浩志 (昭36営) いつもお世話になり、ありがとうございます。現在ロサンゼルス在住ですので、欠席いたします。又帰国いたしましたらよろしくお願い致します。
- 柳本 正雄 (昭37営) お陰様にて頑張っております。御盛会でありますよう、祈念いたしております。
- 井上 隆史 (昭37営) 当日は別件の先約がありますので、ご無礼致します。不況風が日増しに吹いて、予定がくるくる変わり、苦勞しております。
- 皆様のご健勝をお祈り致します。
- 高岡 保宏 (昭37教) ご案内ありがとうございます。当日所用で欠席します。ご出席の皆様によりしくお伝え下さい。ご盛会をお祈りします。
- 米田 啓裕 (昭37教) 今年4月神戸であったマスターズ短水路神戸大会に出場することができました。50自由と100自由に出場し、33秒と1分16秒台の記録でした。順位としては大したものではありませんでしたが100mがまだ泳げたということに喜んでます。
- 安茂 弘 (昭39工) JAPAN MASTERS'92で5位に入賞しました。三宅様、武政君と久しぶりに会い楽しい1日をすごしました。
- 滝沢 章三 (昭39工) いつも御案内いただきながら東京勤務の身にてなかなかタイミングが合わず、欠席が多くて申し訳ありません。息子が大学に行き、ヨット部に入りました。フンドシ1本ですんだのとは違い、ドライスーツだ何だかんだと金はかかりますが、なかなか面白そうです。私もヨットなどやりたいなと思いはじめました。
- 前田 和秀 (昭40法) 4月から入社以来21年間担当していたアクリルシートを再び担当することとなりました。今年のマスターズは3位入賞をはたせずがっかりです。来年を期して泳いでいます。ゴルフ、釣り、水泳と会社の資料作りに、土・日は多忙をきわめています。出席の皆様によりしく。
- 手嶋 忠之 (昭41理) 中3になる息子が100m自由形で全中に出場しましたが、決勝には残れなかったようです。
- いつも欠席ばかりで失礼致しております。
- 宮部 高博 (昭42文) 一度は六甲台プールへと思いながら20年以上実現していません。今年も残念ですが…。ご出席の諸兄によりしくお伝え下さい。
- 阿部 洋三 (昭42工) 9月19日、20日は神戸へ出張していますが残念ながら時間的に出席できません。
- 玉置 明 (昭45営) 元気で頑張っております。今年こそもう少し泳がねばと思いつつながら、何年か経ってゆきます。今年こそ泳ぐ回数を増やす事が現在の目標です。
- 岩切 博 (昭46理) 6月より凌泳マスターズの幹事と引き継いでいます。マスターズのレベルも年々上っているようですが、凌泳会では若手の参加が伸びないようです。多くの参加を期待します。現役諸君も卒業後はマスターズへどうぞ。
- 小林 育夫 (昭46工) 市内のアスレチッククラブで1回/週のペースで遊泳しています。少し体が浮くようになってきました。
- 藤井 元洋 (昭48教) 月1回土曜日が休みになるからと何度も何度も集まって話をしたり…。土曜日がいつも通り休みでない方がいくらか楽かわかりません。子どもも予定をたてさせられたり、アンケートをとられたり、何とも大げさです。夏休み等の休みの方がずっと長いのにね。
- 長谷川 健 (昭49営) 残念ですが会社の社内旅行のため欠席させていただきます。
- 家本 博一 (昭50営) 御無沙汰致しています。先日六甲台のプールを見る機会がありましたが、相変わらずの様子で現役部員の“苦勞”が目に見えるようです。私の方はロシア・東欧研究を続けております。いろいろなことが次々とおきてくるため、情報の整理だけでも大変です。
- 平石 康 (昭53教) 8月29日次男が生まれました。凌泳の学をもらって「凌大」(りょうた)とつけました。ご盛会をお祈り致します。
- 後藤 信人 (昭54営) 此の度は月見の宴のお誘い有難う存じました。何時もお世話になるばかりで何も行き届かなく濟まなく思うばかりでございます。休日には家族でプール等に行っているようです。今年も皆真っ黒に日焼けしたようです。又今後共よろしくお祈り申し上げます。
- 酒井 正人 (昭53農) 相変わらず水泳とは縁の切れない生活を送っております。中年にさしかかっても記録に対する執着はとどまるところを知らず、ついつい欲が出てプールへと足を運んでしまいます。今年こそOB十傑表を作ることを提案します。

- 大 林 良 和 (昭55医) 本年6月より神戸労災病院勤務となりました。9/19は京都で内科学会地方会があるため残念ながら欠席いたします。みなさまのますますの御発展をお祈り申し上げます。
- 土井祐二・紀子 (昭55法・57教) 5月に次男が生まれ、1女2男の親になりました。狭い社宅ですが、楽しく暮らしています。子供達もみんな水泳が好きで、もっぱら区民プールで泳いでいます。
現役の皆様、今年もお疲れ様でした。又、来年も頑張ってください。
- 上 田 剛 弘 (昭56営) 平成5年4月からスタートする「アーバンリゾートフェア神戸'93」の最後の追い込みに連日連夜、悪戦苦闘しております。今年こそスイマー復帰をと、体重を落としたのですが、練習もままならぬ日々が続く、とうとう夏は終わってしまいました。「今年こそ」、毎年この葉書を書くたびにこの言葉をつぶやいております。
- 藤 田 弥 門 (準昭57近畿大) 当日は少々遅れての参加となりそうですが、宴会には間に合うようにいたします。
- 西 山 朋 子 (昭57松蔭女短) マタニティスイミングに通い、長男を7月に出産致しました。長女はベビースイミングに通っていたお陰で、海水浴では得意顔です。私も暇な時はプールで過ごせるような優雅な暮らしを期待していたのですが、慌ただしい生活に追われるばかりで、近所の子供に「おばちゃん」と呼ばれても平気でいられるようになりました。
- 金 一 波 (昭59営Ⅱ) 仕事・仕事に追まられる毎日です。接待・接待で北新地やミナミを飲み回れるのが夢でしたが、もういりません。ゆっくりおだやかに日々をすごしたい。あー忙しい、といいつつ今夜も飲みまくる反省を知らない私です。
- 太 田 雅 彦 (昭58農) 嫁さんがつわりの為、残念ながら行けません。関ボロ優勝、本当にオメデトウ!! 日体大のように関西で連勝記録を!!
- 田 伏 正 佳 (昭58理) 今年6月1日付けで宮崎大学工学部に就職しました。
- 杉 野 誓 (昭58工) いつもご案内いただきながら、欠席ばかりで申し訳ありません。現在、仕事の関係で、関東と関西を往復しながら忙しい毎日です。
- 田 中 俊 哉 (昭58工) 当日は中国出張中の為、残念ながら欠席させていただきます。
- 呉 竹 正 人 (昭59法) 忙しかった夏をトライアスロン(愛知)、日本身障水泳選手権(滋賀)、クロスカントリー(新潟)の3連戦で締めくくったところです。
- 谷 水 利 行 (昭59法) マスターズに出場したところ、50m Bu30" 8、100m Bu1'10" 4でした。いつも欠席で申し訳なく思っています。
- 土 井 健 治 (昭60営) 愛娘も1才6か月となりよく話をするようになりました。水泳部の皆さまががんばってください。
- 楠 戸 祐 子 (昭60甲南女子大) この夏ほど忙しい年はありませんでした。皆様はお変わりありませんか。いつも遠くから皆様のご健康を祈っております。
- 黒 川 良 介 (昭61営) 今夏のベストタイムは50背35'6(長水)でした。全国実業団に出たいところですが、阪大藤井氏(38才)、京大満友氏(31才)と同種目で、社内で熾烈な争いを行っています。
- 太 田 久 美 子 (昭61文) 先日は東京で現役の皆さんとお会いできて、楽しかったです。若さに圧倒される思いでした(?)が、東京OB軍団のパワーは、もっとすごいです。来年も頑張ってください。最後に一言、現在(9/13)阪神は首位!
- 中 川 善 雄 (昭62工) 先週(9/4)ミナミの金龍ラーメンで私の同僚が「KOBЕ UNIV SWIMMING TEAM」のボロシャツを着た学生に声をかけたところ、私のことを知ってくれたらしく、その話を聞いて大変うれしく思いました。月見の宴には毎年参加しておくべきだと、改めて感じた出来事です。
- 原 田 久 富 美 (昭62農) 今年の御活躍おめでとうございます。私は草地試験場での研究生生活を始めました。ここは近くに温泉、牧場、日光、仙台、スキー等々、観光には良い所です。
- 三 好 岳 (昭62法) 今年は初の関ボロ優勝、本当におめでとうございます。私も今シーズンは例年よりも泳ぐことができ、久々に200個メのレースもやりました。タイムは人に言えるものではありませんが…。当日も参加します。久々に飲んで騒ぎたいです。
- 吉 岡 成 人 (昭63工) 当日は仕事。次の日は引越しのため出席できません。とても残念です。ところで先日のインカレの後、新宿でのコンパ、楽しませて頂きました。まだまだ現役のパワーは強力でした。寺井チャンノまた「聖子メドレー」をデュエットしようぜ!!
- 近 藤 直 明 (昭63営) 関ボロ優勝おめでとう、そして今期もご苦労様でした。当日は是非参加させてい

たきます。

- 徳永 守 (昭63農) 関ボロ優勝おめでとうございます。今年は数年ぶりにOB戦に参加しようと思っております。
- 中塚 泰弘 (昭63農) 10月に現在勤めている会社をやめ、ブータローになる予定です。現在立派なブータローになるべく、準備に余念がないため、当日行けるかどうかわかりませんが、都合がつけば参加したいと思います。なお来期の凌泳の住所欄には“放浪中”と記入願います。
- 井口 恵理 (昭63工) 毎日クーラーの中にいるせいで夏空の下を歩くとすっかりばててしまいます。関西インカレ等の試合で3日間も立ち続けていたなんてホント信じられませんネ。19日は残念ながら出勤です。(遅くに顔をだせたらーと思っていますが)
- 奥村 直樹 (平元営) 4回生の皆さんお疲れ様でした。'92.8/1付にて東京へ転勤致しました。仕事も一変し、毎日ドタバタしております。お近くへお越しの際には是非お立ち寄り下さい。
- 高元 智子 (昭63甲南大) 皆様お元気でしょうか。夏も終わりに近付いた頃になって、泳ぎたくなってきました。以前はよくスポーツクラブへ行っては1キロくらい泳いでいたのですが、最近はやさっぱりで、もうそろそろ練習を再開しようと思っています。
- 岡崎 景子 (平元教) 19日は帯の日なのでがんばって家で腹帯をまいておきます。盛會を祈ります。
- 村上 美和 (平元教) 相変わらずです。OBの方々お久し振りです。現役の皆さん練習・試合お疲れ様です。関ボロ優勝おめでとう。
- 岡崎 憲之 (平2教) 当日少し送れますが参加します。第2土曜日だったら休みだったのに…。
- 林 均 (平2工) なんと、こんな私が間もなくパパになります。自分に似てたらどうしよう。現役の皆さんの活躍を耳にして、私も泳ぎに行きたいと思う今日この頃です。
- 枝澤 百合子 (平3教) 今年2月に関トーマンからECCに転戦しました。連絡が遅れてすみません。今はECCと西宮にある大社音楽院の英語科で小学生～大人に英語を教えています。現役の皆さん、これから秋～冬へと厳しい季節になりますが、頑張ってください。私もできるだけ時間を見つけて泳ぐことにしています。
- 柴田 英之 (平3農) インカレ観戦しました。少々残念な結果でしたが試合後、現役と東京在住のOBとの交流コンパが開かれ、楽しいひとときを過ごしました。最近は一橋大学にて、たまに泳いでいます。皆様によろしく!
- 菅 尚正 (平3農) 今年の夏は泳ぎもせずにだらだらと過ごした結果、銀行の試合ですごいタイムで泳いでしまい、先日エグザスへの申し込みを終えたところです。来年は現役に負けないタイムで泳ぐつもりです。
- 一越 健治 (平4経) この度、転勤により東京に移ることになりました。成田の田舎になじんできた頃だけに少し寂しい気がします。東京に来た際は良ければお立ち寄り下さい。
- 安居 武彦 (平4法) インカレの夜は久しぶりに楽しませてもらいました。当日は仕事(休日出勤!!)のため欠席させていただきます。

1992年度 日本マスターズ短水路大会 成績

4月～5月にかけて全国15会場で開催され、関西勢は4会場に20名が出場し、下記の成績を収めました。

記

◎神戸会場		4.12.(日)		於.NASポートピア プール				
氏名 (卒年)	区分	種目	順	タイム	種目	順	タイム	
古賀克己(昭11)	80+	25自	1	19-53	50自	1	45-48	
三宅 林(昭21)	65+	50平	2	45-54	100平	1	1-44-22	
石井義章(昭27)	60+	50平	3	49-11	100平	2	1-56-75	
岡沢幹夫(昭29)	60+	50自	1	32-68	50蝶	1	36-40	
米田啓祐(昭37)	50+	50自	7	33-43	100自	7	1-16-71	
安茂 弘(昭39)	50+	50平	3	41-21	100平	4	1-32-61	
酒井正人(昭53)	35+	100個メ	1	1-12-80				
金 一波(昭59)	30+	25自	7	13-29				
藤田弥門(昭57準)	30+	100個メ	7	1-18-25	50平	5	37-51	
藤本栄美(昭59準)	30+	25自	1	15-20	50自	1	32-19	
凌泳会	240+	男子100mフリー (古賀、三宅、岡沢、金)					2	1-05-06

◎神奈川会場		4月29日(祝)		於.NECグリーンSS			
小山賢之助(昭7)	80+	25平	1	24-99	50平	1	57-11

◎大阪会場		4月29日(祝)		於.大阪水泳学校 長吉校			
古賀克己(昭11)	80+	25背	1	25-09	50背	1	59-30

◎宝塚会場		5月10日(日)		於.宝塚チボリビーパークラブ			
三宅 林(昭21)	65+	25平	2	20-57	200平	2	3-57-53

◎ 東京会場	5月17日(日)	於. スイムスクールNAS国立
近藤直明(昭63)	25+ 50自	28-10
◎ 群馬会場	5月17日(日)	於. ダッシュ前橋SC
太田雅彦(昭58)	30+ 200自	1 2-32-30 100背 1 1-17-60
◎ 京都会場	5月17日(日)	於. 京都両洋高校
呉竹正人(昭59)	30+ 50自	2 28-46 200自 4 2-28-59
◎ 埼玉会場	5月24日(日)	於. アテナアクアメイツ
岩切 博(昭46)	40+ 200個*	2 3-04-56 100平 2 1-25-50
佐敷定雄(昭49)	40+ 100自	1 1-02-19 25蝶 1 13-99
◎ 東京会場	5月24日(日)	於. 江戸川スポーツセンター
田淵五郎(昭30)	55+ 25背	1 17-25 100背 2 1-26-15
武政英幸(昭39)	50+ 25背	4 17-49 100個* 4 1-20-43
前田和秀(昭40)	50+ 25背	6 19-50 50背 5 43-28
岩切 博(昭46)	40+ 100蝶	4 1-20-33
太田雅彦(昭58)	30+ 50背	2 34-45
呉竹正人(昭59)	30+ 100自	4 1-03-32
浦野敏明(昭60)	25+ 50蝶	10 32-23 100蝶 5 1-12-82
近藤直明(昭63)	25+ 100自	12 1-03-41
凌泳会	160+ 男子100mフル-	(武政、前田、呉竹、浦野) 6 54-82

以上

ジャパンマスタース92 成績表

開催日 1992. 9. 13~15

会場 福岡県立総合プール (50m)

今年は福岡での開催のため凌泳会からの参加者は少なかった。成績は下記のとおり。

氏名(卒年)	区分	種目	順	タイム	種目	順	タイム
古賀克己(昭11)	80+	50自	2	45-22	100自	1	2-04-48
		50背	2	55-90			
三宅 林(昭21)	65+	100平	4	1-45-86	200平	4	3-57-75
松田司朗(昭32)	55+	100自	13	1-24-26	200自	14	3-15-86
		50蝶	11	44-76			
武政英幸(昭39)	50+	50自	16	30-60	100自	12	1-12-42
		100蝶	6	1-26-46	200個	7	3-11-52
安茂 弘(昭39)	50+	200平	5	3-30-60			
佐敷定雄(昭49)	40+	100自	3	1-04-27	200自	1	2-25-68
		50蝶	2	29-56	100蝶	1	1-09-82

注) 古賀克己氏は甲子園SSより、松田司朗氏は中もずSSより、佐敷定雄氏は柏洋スイマーズより出場。

92 レインボーカップ マスターズ 成績表

開催日 1992. 10. 2~4

会場 名古屋レインボープール(50m)

初めて開催されたこの大会に、凌泳会からは8名の参加者があり、下記の成績を収めた。

氏名(卒年)	区分	種目	順	タイム	種目	順	タイム
古賀克己(昭11)	80+	50自	1	44-32	50背	2	56-84
三宅 林(昭21)	65+	50平	3	45-84	100平	2	1-45-68
		200平	4	4-00-49			
石井義章(昭27)	60+	100平	13	1-56-67			
岡沢幹夫(昭29)	60+	50自	4	32-76	50蝶	4	36-60
田淵五郎(昭30)	55+	50背	1	38-37	100背	2	1-27-38
井上隆史(昭37)	50+	50背	2	38-47	100背	3	1-30-18
武政英幸(昭39)	50+	50背	3	39-59	100蝶	6	1-27-79
岩切 博(昭47)	40+	200自	14	2-59-10	100平	15	1-30-64
		200蝶	1	3-06-36			
凌泳会	200+	200メドレー	(田淵・岩切・武政・井上)		3	2-23-33	

現役部員寄稿

神戸大学体育会水泳部

主将 西尾 泰紀

体育会とは何であろうか。

“体育会水泳部”とは何であろうか。

この神聖なる凌泳誌上を借りて、今さら体育会の定義をしなければならない自分自身情けない。そんな今の水泳部が非常に情けない。偉大なる先輩の方々、頑張っている他大学の水泳部の面々、そして堂々と“神戸大学体育会”の看板を背負っている他の体育会クラブの皆に対して、私の主将としてのいたらなさを痛感する次第です。恥をしのんでこの誌面を借りて考えてみたい。

・体育会組織・

体育会クラブの組織基盤は、同回生下級生、上級生との付き合いを含む上下関係と、そのクラブを支援するOB組織という二つによって成り立っている。その基盤を根本から支えているのが礼儀である。挨拶などというものは礼儀の基本であり、体育会組織だけでなく日常生活を円滑にするためにも必要不可欠なものである。その挨拶すらロクにできない奴がいる。非常に情け無いことである。また、たまたま私は、酒好きコンパ好きと言う事と相俟って、古いOBの方や若いOBの方と会い、そして話す機会に恵まれた。だが部内ではそうでない、いやそういうことが嫌いな奴らもいる。それではいけない。我々現役を支援してくださるOBの方と話すことで知識を得、違う年代の人の考えを学び、自分の世界が広がる。いつまでも自分の枠の中にはダメなのだ。ガキじゃあるまいし、気に入る連中とばかりつるむな。皆、暗い。大人になれ。

・伝統と厳しさ・

神戸大学体育会水泳部。

“体育会”の名が付いている以上、先輩方が築きあげてきた伝統が存在する。“体育会”の名が付いている以上、勝ち負けが最優先される。“体育会”であるからには、勝たなければ意味がない。勝ち続けて我々が新しい伝統を作っていかなければならない。そして、その伝統を後輩に引き渡す義務がある。以上の事、皆は理解しているのか。理解していれば、甘えは消え失せ、妥協は許されず、おのずとその練習は厳しいものとなる。この伝統と厳しさが、体育会を体育会成らしめる、その本質なのである。巷で体育会がクレイジー、時代遅れといわれている所以がこの2つにあるらしい。言わせておけばいい。厳しい練習に耐えて勝ち取った勝利など非常に素晴らしい。敗北なら、それをバネにして頑張ったら恰好いいではないか。ロマンチストと言われるかもしれないが、そこには言葉では表せない何かがあるはずである。我々にしかわからなくてもいい。選ばれたものの、虚栄心がそこにはあるはずである。

・水泳・

水泳部にいる以上、皆、競泳か水球をやりたくて水泳部に入ってきたはずである。強制されたわけではなく、自発的に入部してきたのである。それなら常に水泳のことを頭の中にいれておけ。大学に入っているいろいろなことをやりたいのは分かる。バイトもしたいし、女とも遊びたい。だが、バイトがあるからクラブを休みたいなどとふざけたことをいうな。どちらが大切か、よく考えてほしい。我々は水泳のプロになるわけでも、水泳で飯を食っていくわけでもない。しかし、水泳以外のことがやりたくても、泳ぐときは真剣に水泳のことを考えて欲しい。一秒でも早く泳ぎたい、1センチでも高く飛びつきたいと考えるべきである。他大学の水泳部の人達、我々のOBの方々、他の“神戸大学体育会”のクラブの皆に対して、飽くなき勝利への執念、周りがこっ恥しくなるぐらいの水泳に対しての情熱を見せつけねばならない、そうする義務がある。何故なら、我々は“神戸大学体育会水泳部”だからである。

以上、長々と書いてきたが、理解してくれる人には、今さらだが、理解できてない人は良く考えて欲しい。

私の希望が絶望に、願望が失望に変わらないことを祈ります。

水泳部員の心構え

主務 上山 敏正

水泳部は一つの組織である。様々な人間が集まってはいるが、皆共通した目標に向かって一致団結して活動する組織である。各部員が上回生からの指示や仕事をきちんと行わない限り、その組織としての存在意義がなくなってしまうのである。仕事をしなければならない立場にある部員（例えば副務や1回生）はその点をよく考えてもらいたい。神戸大学水泳部は中学校・高校の水泳部とは違う。1人の勝手な人間の行動が組織としての水泳部を崩壊しかねないのである。

またマネジメントをする立場から練習に関して注文がある。ただ単に水泳をするだけで水泳部の活動に参加せず興味を全く持っていないものは、水泳部に籍を置くことを遠慮してもらいたい。そのような者はどこかのクラブチームで水泳をすることを勧める。上にも述べたように水泳部は1つの組織なのだから。神戸大学水泳部は水泳および（“あるいは”ではない）水泳部が好きな人間の集まりであるのだからそのどちらかの一方が欠けている人間は水泳部員としての価値はない。

より速く泳ぐために我々に必要なものとは何だろうか？ 広くてきれいなプールか、或いは鬼コーチか、それとも、.....。

物理的なものは二の次だ。素直に考えて、それは各々の「研究と努力」であると思はれている。そしてこの「研究と努力」を個々にもたらす源が、競泳に対する「情熱」であると思う。具体的に何に対する情熱でもいい。表彰台、神大記録、打倒〇〇、自己ベスト etc. ジェイカーは50mの覇者とならんが為に毎日1万m近くの練習をこなし、鈴木大地は、起き上がることさえ困難なほどの腰痛を克服して、世界の頂点に立った。彼らを動かしているのは情熱（競泳に対してピュアであること）以外の何ものでもない。

ところで君達は、水泳部にいる以上何かに対して情熱をもっているだろうか？ 冷めたりしていないだろうか？ 六甲台へは何をしに来るのか？ 個々の情熱は必ずしも言葉にする必要はない。それを練習の場で、或いは自分自身の時間で行動に表して欲しい。そうすることで、チームが強くて活気ある方向に導かれるはずである。

我々は、水泳が好きな者の集団であるはずである。そして、少なくとも私はかなりの競泳バカである。競泳に対していまひとつ燃えるものがないという者、とりあえずガンガン練習して欲しい、どんどん仲間と知り合って競泳について語り合って欲しい。速くなるためには、練習だけでなくいろいろな小細工の研究が必要だし、それらを駆使してベストに結びつける過程を楽しむことが、競泳のおもしろさだと思う。

競泳に対する情熱とはすなわち、自分自身に注ぎ込む情熱でもあると思う。皆の自主性に期待する。

水球について

水球主任 木村 一也

水球を始めて7年目。とうとう最後のシーズンがやってきました。今までもそうでしたが、このシーズンも「水球」を思う存分楽しみ、また水球主任という立場にいるものとして、出来るだけチームのメンバーを楽しませてあげたい。それが勝つことなのか自分たちのチームを作り上げることなのか、皆と練習することなのか、練習やチームのことを考えることなのか、他のことなのか、分かりませんが、一回一回の「水球」を楽しみ、大事にしていきたい。これが今の気持ちでもあり、抱負でもあります。自分についてはこれぐらいですが、皆に一つだけ水球をやっている上回生としていいたい。“やるからには、思いっきりやってほしい。”今さらと感ずるかもしれないが、これをしっかり受け止めておいてもらいたい。さあ、数か月、一緒に楽しもうぜ！

卒部の辞

(平5 理) 家門 秀行

水泳部に入部して四年。あまり偉そうに言える事は出来なかったけど、自分なりに頑張ったかなって思います。もともと他人に甘く、自分にはもっと甘い性格だから、まわりの人に迷惑ばかりかけてきた四年間でした。そんな僕が、こうして卒部の辞を書けるのも、諸先輩方や同輩、そして後輩達のおかげだと思います。

さて卒部にあたり、後輩のみんなに一つだけいっておきたい事があります。それは、「何でも真剣に競い合える友達を作れ」という事です。部内だけでなく、他大学の水泳部、また、他の体育会のクラブや同じ学部の学生でも構いません。競い合う内容も、水泳だけでなく、勉強や恋、何でも構わないのです。交友関係を広げ、競い合う事が精神的な成長を促し、将来、必ず役に立ちます。そして、それができるのが、大学に在学している間なのです。クラブの練習の合間の限られた時間を大切に、友達をたくさん作って下さい。僕自身も、こうして卒部はしますが、卒業まではまだ間があるので、もう少しだけ、新しい友達を作ってみようと思います。そして、この四年の間に得たものの一部を、他の人に与えられればと思っています。

長くなりましたが、最後に、四年間、僕を支えて下さったみなさんに、お礼を言わせて下さい。ありがとうございました。現役部員のみなさん、僕はこれからも、神戸大学体育会水泳部を応援し続けますから、悔いの残らない様に頑張ってください。

(平5 理) 下坂 浩

1989年春、桜の咲く頃水泳部に入部したシャイで気の小さい少年は、1993年冬、プールが落葉に染まる頃卒業する。

あんなに気の小さかった僕が四年間も水泳部で頑張れたのはひとえに、諸先輩方や、藤本君をはじめとする同輩、それに後輩達みんなのお陰である。というのは真っ赤な嘘です。クラブのことを書こうと思ったが、何も思い浮かばない。考えてみれば、クラブのことを考えた事などないのだから当然である。僕は常にどうすれば自分が楽で、幸せで、そして楽しめるかということしか考えていなかった。ただそんな僕を見捨てながらも助けてくれた、友達には感謝している。面白かった。最後に一言。忘れなくてね。

あ・な・た・の・ヒロシ

(平5 営) 富村 英三

戦列から一步はなれ早数カ月、後輩が羨ましく思える。おかしい、寂しい。そんな気持ちをごらえている。それだけクラブに入れ込んでいたのだろう。授業よりプール、遊びよりプール、女よりプール、週六回、納得。

いろいろあった。いろいろ学んだ。いろいろな人がいた。やって来た。去って行く。みんなプールで泳ぐ。泳ぐ。俺はあまり。努力の人。素質の人。最高の努力は、最高に輝く星に。

先輩に、同輩に、後輩に感謝したい。ありがとう。

(平5 教) 中畑 寛之

ある一つの節目に立って今までの自分を振り返ってみる時、そこには感動や喜び以上に反省であるとか、後悔といったものがどんどん大きくなって自分を包み込んでしまう様だ。しかし、自分が過ごしてきた"水泳"生活—かなり長い競泳とわずか3年のボロー—は、その瞬間々々においては常にめいっぱい、全力で頑張ってきたはずだと信じている。

諸先輩方や素晴らしい後輩達には、なにものにもかえがたい4年間をいただいたと思っています。そしてその四年間を共に過ごし、ダメな幹部と言われた僕らの同回生には、我がまま放題の私自身を精一杯支えてくれたことを大変感謝しています。

(平5工) 東 圭紀

水泳部似入部して以来六年が過ぎた。周りに自分を合わそうと試みた。自分を変えようと努力した。結局は、自分を殺しただけであったか。

周りをかえようと試みた。理想に少しでも近付けようとした。数々の個人的愚行はあるが、私のやってきたことは正しいと信じて止まない。

人と歩調をあわすのは面倒なことだ。だからといって、勝手ばかりやっていたのではチームを組んでいる意味がない。人と協調することの大切さ、楽しさ、その効果を私は否定しない。しかし、競泳はあくまで個人種目であることも否定しませんけどね。

伝統と格式を重んじる体育会水泳部。しかし、いつまでも変化を拒んでいては、行き着く先はプールで泳ぐシーラカンスだ。一人一人が、自分の来る前より水泳部のここが良くなった、と言えるものをもって四年間を終えられることを期待します。陰口ばかりぐちぐち言っているんじゃないかってね。前例主義ばかりではクラブをやっている意味がないと思う。カッコいい言い方をすれば挑戦こそがクラブ活動の本質だと私は考えます。

最後にOB諸氏、現役部員、並びに未来の水泳部員諸君のご多幸をお祈りします。さようなら。

(平5 教) 藤本 博之

十年間にわたる選手生活を終えて、今、一息ついている所だ。何か気が抜けてしまった様な、少しほっとした様な、不思議な気持ちだ。

小学校の頃、単に運動不足だったからというだけで始めた水泳。その頃は嫌で嫌でしょうがなかった水泳に、ここまでのめり込むことになるとは、自分でも思ってもみなかった事だ。

中学で水泳部に入って、選手になって、ロングを始めて…。俺をロングの選手として育ててくれたのもあの頃の先輩だったM。あの先輩には本当に世話になったなあ。他にもいろいろな人がいた。いつも私をお供にして三田の町をうろついていた先輩。やたらとプロレス技をかけてくる先輩。よくエロ本をまわしてくれた先輩。いつも私とチャンバラをしていたバカな同輩…。あの頃は本当にバカばかりやってた。楽しかった。それでいて一番苦しい時だったかもしれない。

先輩も卒業して、ロングは俺一人になった。時には他の連中の二倍近いメニューを死にそうになりながら一人でこなし、何度も「もうやめようか」と思った。俺は「一人」というのが寂しかった。そんな時、熊の様な体格をした顧問の先生が、「しんどい時にがんばるんや」と言われた。この時、俺は、死にそうになりながらも、「やってやるぜ」という気になった。この時のことは、今の俺に大きく影響しているように思う。俺が度々言ってきた「努力と根性」は、この時の先生の言葉どこかでつながっているのではないか、そんな事をふと思った。

あの頃から、今まで、基本的には全然変わってないかな。俺は。それでいて、何かが違うような気がする。何だろ？強いてあげれば、「一人」とか考えなくなった事かな。妙な気持ちだ。あの頃の俺も俺、今の俺も俺。俺が少しでも変わったとしたら、それはやっぱり、神大水泳部のおかげかな。ええい、もういいや。大学での事を思い出すのは、もっと後になってからでいい。

ま、とにかく、たまたま水泳始めて、たまたまロングをやって、たまたま神大に受かって、たまたま水泳部に入って、偶然に偶然が重なって、今の俺がある。不思議なもんだよな。まっ、いいか。

あー何だかわけわかんなくなってきた。とにかくこれで俺の水泳生活は一旦終わりだけど、まだ選手生活の残っているみんなはがんばってくれ。一生懸命やってれば何かいい事があるかもしれない。ないかもしれない。まずはクラブに参加すること。そんな中で自分の目標が見つかったら、それに向かって突っ走ること。ゴールは遥か遠くで、まだ見えないかもしれないけれど、それでいい。努力なしで簡単につかめる夢はいらない。走り続けることが生きていることだと思っぞ。またわけがわかんなくなつたので、こへんで終わる。 それでは諸君、精進せいよ!! ばいばい。

(平5 農) 藤本 克彦

4年間、私は、'自分をもっと速く泳げるはずだ'と思って水泳部に入った。そして、それは、4年間ずっと変わらなかった。

試合でタイムが悪いとき、'自分はこんなタイムで終わる奴ではないはずだ'そう自分に言い聞かせてやってきた。水球にしてもそうだ。'早く人に認められたい' '早く試合に出たい' そう思ってやってきた。水球の場合、当時、誰もが初心者でスタートラインは同じであったが故に特にその気持ちが強かった。

私を動かしていたものは、勝ちたいという気持ちではなく、負けたくないという気持ちであった。それ故に、今まで勝った試合の記憶はうすく、負けた試合の記憶は濃く残っている。

4年間、何も考えず(悪い意味ではない)よく練習した。これは、ひとえに私の単純さからくるものであろう。そして、その単純さ故かどうかわからないが、先輩方にはよくかわいがられた。また、よくいじめ(?)られた。そんな生活が、毎日が、楽しかった。

誰もが、自分にはない何かを持っていた。そんな、ともすると得体の知れない"何か"を持つ人々との付き合いが楽しかった。そして、そんな場所を与えてくれた水泳部のみんなに感謝している。

(平5 教) 西島 淳一

卒業するにあたり、まず私を水球主任にしてくれ、いつも支えてきてくれた同輩、そしてこんな頼りない私についてきてくれた後輩諸君、また陰ながら応援して下さった先輩諸氏にお礼申し上げます。

関ボロ優勝という長年の夢が叶い、今思うと本当に私はしあわせものだったような気がします。どこのチームが優勝してもおかしくないこの戦国時代に、我が神大チームが優勝できた理由はただ一つ、ひとりひとりの勝つことに対する意識が他のチームのだれよりも勝っていたからに違いありません。

後輩諸君、No. 1であることの素晴らしさ、勝って泣くことの素晴らしさをこれからずっと受け継いでいって下さい。そしていつまでも明るく楽しい、そして強い水泳部でいて下さい。本当にお世話になりました。

(平5 文) 井上 優子

水泳部において、私を最も強力にアイデンティファイしてきたこの身長が、競泳の記録の様に残らないのは甚だ残念であり、かつ損をしているような今日この頃、全国大会のプログラムにも載ったことだし今さら隠すのも嫌みだからだから最後に言っておくと、私の身長は174cmである。正確には174.8cmである。(平成4年現在)

身長の話だけしても仕方ないので、競泳の話をすると、私は大会で泳ぐのが大嫌いであった。もともと勝負には関心の薄いタチである。その分、練習態度も不真面目であったと言わざるをえない。それだけに、リレーでの神大記録があれほど嬉しかったことは我ながら意外だった。1、2年の頃は先輩方に背中を押していただき、4年になれば後輩に機嫌をとってもらい、思えば私は選手として本当に情けない奴だった。自分の力でやったことは一つもない。1日最高6レース泳がなければならない大会はただただ鬼のようにしんどく、この先もそうであろう後輩を見ていると思わず涙ぐんでしまうぐらいである。しかし、最後になってリレーの楽しさ(のようなもの)を教えてくれた水泳部に、感謝して卒業できることを嬉しく思う。

私の我がままを黙って見逃し、私を水泳部員として認めて下さった全ての方々に感謝します。

(平5 神女院) 魚住 香子

自分で言うのも何ですが、今こうやって卒部の辞を書いていると、とても不思議な気がします。と言うのも、ふとしたきっかけでマネージャーになったにも拘らず、練習参加状況は決して真面目とは言えず、“久し振り”と言うのがすっかりお決まりの挨拶になり、“そのうち辞めるだろう”と言うのが、私自身も含めた周りの一致した意見だったのですから。しかし3回生の夏に、他大学ということで部員との間に距離を感じていた私を変えてくれたのは、1つ上の素晴らしいマネージャーの先輩と、年々増えた可愛い後輩達でした。それ以後、“真面目なマネージャー”という言葉には程遠かったものの、変なこだわりがなくなり、水泳部に対する思い入れが膨らんでいきました。そして最後の夏、プールサイドで我を忘れ、祈るような気持ちで選手を応援している自分を見つけた時、“これでよかったんだ”と思いました。

つたなくたどたどしい仕事ぶりに我慢してくれた、選手と可愛い後輩のマネージャーの皆さん、ありがとうございました。

最後に、マネージャーとしてだけでなく、色々な面で大切な事を教えてくれたマネージャーのY先輩と、不真面目な私への不満を押し殺して、根気良く一緒に仕事をしてくれた、尊敬すべき同回生のYさん、このダブルY氏にspecial thanksを送って、卒部の辞としたいと思います。本当にありがとうございました。

(平5 法) 中山 祥子

緑色のプールに驚き、汚い部室とプールに驚き、大人っぽい先輩方と、体育会系の先輩後輩関係に驚いた4月でした。高校入学と同時に水泳を始めて、2年間は楽しく泳ぎ、その後2年間のブランクがあったのもうタイムはのびないだろうし、これからはマネージャーとして水泳部とかかわっていこうと思いつつも、気が付けば冷たい水の中で泳いでいました。

思えば私は、これまでずっと“水泳が好き”という気持ちだけで泳ぎ続けてきたような気がします。体育会に属する以上、勝つことを第一の目標におこななければならないことは頭ではわかっていたし、自分にもそう言いかせてきました。どうしても心の底からそう思うことができない自分にイライラし続けたまま、結局引退の日を迎えてしまいました。スランプに陥ったときや練習がつらい時、勝つことを目指し、またタイムを0.1秒でも縮めようと努力している人ならば強い精神力で立ち向かうことができますが、そんな時、私は逃げ腰になるばかりで、まるでそれが義務でもあるかのように、ただ単に練習をこなすだけになってしまいます。こんな自分が体育会の水泳部にいてよいのだろうかと思ったり時期もありましたが、特に上級生になってからは後輩をひっぱっていかねばならない立場上、切実な問題となりました。けれども後輩達は、競泳あるいは水球に対して、私が思っていたよりもずっと情熱があったのです。それぞれのペースとやり方で着実に力をつけていく彼らを頼もしく思う反面、私が先輩にお世話になったうちの十分の一も後輩になにかしてあげられない自分をはがゆく思いました。

“泳ぐこと”に関して悔いはありませんが、部活動という点では反省ばかりの4年間でした。と同時に神大水泳部から多くの大切なことを学ぶことができた4年間でもありました。最後になりましたが、何かと弱気になる私をはげまし、応援して下さった先輩方をはじめ、同輩、後輩の皆さん、本当にありがとうございました。これからの御活躍をお祈り致します。

(平5 工) 吉元 佳津子

泣いたり笑ったり怒ったり、慌ただしい毎日が過ぎ、私の4年間の大学生活が終わろうとしています。この4年間を通して、私の中での水泳部という存在は、大きくなったりそしてときには小さくなったりしながら、私に様々な影響を与えてくれました。今振り返ってみると、わがままの多い世話のやけるマネージャーだったかなとか、もっと「畏れたんじゃなかったかなとか、いろいろ反省もして、そんな私を大目にみてくれた、励ましてくれた先輩、後輩そして同輩たちに、申し訳ないと思う気持ちになるのですが、いろいろなことに一生懸命だった自分を思い出して、なんだか微笑ましいような、そして少し恥ずかしいような気もしています。そしてこんな私を支えてくれた皆様方に感謝の気持ちでいっぱいです。どうもありがとうございました。今後の皆様方の御活躍を期待致します。

(平5 神女短) 篠原 弓

「オッス。神戸大学体育会……。」この言葉を口にしたのは、今年の5月9日の新歓コンパの時でした。私は1度目失敗をしたので、次は体の奥底から叫びました。そして、体育会と口にした瞬間、体中が熱くなって、「これよ、これ！学生はこうでなくっちゃあ。」と思い、それだけで自分に酔いしれてしまいました。

さらに、水泳部は、この熱い期待をうらぎることなく、私に青春を与えてくれました。それは、20年間生きてきて、1番熱かった夏かもしれません。そう思うのと同時に、短大ということが、とても悔しい今日です。改めて短い間でしたが本当に有り難うございました。

最後に、こんな奴もいたなあと少しでも思い出して頂ければ、とても光栄です。

(平5 神女短) 中末 佳恵

マネージャーとしての仕事は十分出来ていなかったもので、みんなにはとても迷惑をかけたことでしょう。自分でも「こんな仕事ぶりでは、いてもいなくても同じような気がする」と思ったくらいです。

最初、私にとって苦痛だったのがタイムを計ることでした。でもこれから逃れることはできなかった。選手が聞いてきたタイムと自分で計ったタイムが全然違うと、とても悩んだものです。何回もするうちに慣れてはきたものの、やはりしたくはないという気持ちがあった。だからタイムがほぼ近かったり、ピッタリ出た時は、とてもうれしかった。

やっとなれてきたかな？という時にやめないといけないなんて寂しい気がします。たった三ヶ月間という短い間でしたが、いろんな思い出ができて楽しかったです。

現役部員紹介

毎度おなじみ2回生による現役部員紹介です。

(4回生)

上山 敏正(経・背・清風高) 昼間は、その人ならぬ長い手をフル活用し、競泳ではもちろんのこと、水球においてはみごとなパスカットを大いに見せてくれる彼ではあるが、夜になっていつもの、“うつのみ屋”に入るやいなや、悪魔と化すのであった。ビール片手に笑顔で近づく彼にだまされたが最後、目の前に置いてあったはずのビールは、次々とあなたのコップへと注がれているのです。

木村 一也(理・水球・茨木高) 神大水泳部カルトQ ——! 「第一問 木村さんの別荘は?」「六甲道」「ピンポン」「第二問 あっ!ちゃんと書こう。麻雀で負けても笑顔をやささない性格の良さ、合コンに行けば何人もの女の子をマネージャーにつれてきてくれるルックス、水球会場をうならせる華麗な技の数々、愛車はVOLVO。うむ、できる!まさにつけ入るすきがない。唯一の弱点は関学の弟から聞き出す私生活ぐらいしかないがこの話を書くと発禁になるのでやめておく。まあ水球主任として今年も我がチームを優勝させてくれるだろう。

高倉 信之(営・自長・日田高) 一年ぶりに復活した彼である。我々2回生の第一印象は“優しく、ふつうのお兄さん”であるが、それに対して、某4回生2名によると“胸がいつそうふくよかになった”そうである。よく見てみれば、なるほど女子もうらやむ程の豊満なバストをもっている。そんな彼であるが、競泳面の救世主であるので、最後の1年を思いっきりがんばっていただきたい。

西尾 泰紀(経・平、水球・瀧高) 普段は神戸大学体育会水泳部主将、そしてある時は体育会アフリカ部副主将そしてまたある時は六甲猿軍団の一員、といくつかの顔を持つ彼であるが、しかし、アルコールが入ると、女であれば誰であろうとせまりまくる、ただのいやらしいにーちゃんである。そんな彼ではあるがプールに入れば関西で1番のキーパーであり、プレストもとても速い。今年もブレのエースとして、また神大の関ポロ制覇のためにも、よりいつそう活躍してもらいたいものである。

松島 英樹(経・平、水球・修道高) 水球の鬼である。打たせれば得点が入る

あのシュートは天下一品である。今年関西学生水球リーグ戦、およびJr戦をどちらも神大が制したのは、彼の腕に負うところが非常に大きい。また水球のみならず競泳に関して自分の才能を十分に発揮している。まさに、神大水泳部のスーパースターの1人である。このように書いていると、水泳一直線のように思えるが、実はそうではないのである。いまさら言うまでもないが、将来にむけて着々と自宅で愛をはぐくんでいるのである。最後に一言。愛には溺れても、水には溺れないでください。

山田 基洋(経・自長・小松高) 今年競泳主任となった彼は「俺は寺井町の期待を背負っているんや」と豪語するだけあって、勉学にも練習にも非常に熱心であるが、彼の麻雀にかける執念は並々ならぬものがあり、たとえゲームセンターのアイドル麻雀でも持ち前の鋭い視線を放ち決して手を抜かない。私は麻雀覚えたてで、まだ彼と麻雀を打ったことがないが、もしやるようなことがあればさぞカモにされることだろう。それでも彼は私にとっては師匠とも言うべき頼もしい、そして尊敬する先輩である。そして競泳面のエースとして最後のシーズンを華々しく飾ってほしいと思うのである。しかし彼が北野大に似ていると思っているのは私だけなのだろうか。

吉岡 晋一(経・自、水球・岡山芳泉高) 彼の名はガルシア。我が水泳部における宇宙からの留学生である。アンドロメダ生まれの岡山育ちである。宇宙人である彼の言動は地球人である我々の理解の範疇をこえることがしばしばなのである。常して宇宙的視野を持つ彼のオーバーな表現にはいつも驚かされているのである。しかし今年は4回生となり、現役最後の選手生活を競泳・水球の両方において大活躍してくれるだろう。また水泳部において、形成されつつある、「中国地方出身を誇りに持とう会」の一員としての活躍も期待したい。

上村 麻由美(松蔭・背・松蔭高) 4回生のK氏から、「いつもえーもんばっかり着とるのう」とため息まじりに言われてしまう彼女は、正真正銘のお嬢様である。(かといって2回生のIさんがばちもんのお嬢という訳ではないが) “ちょっと旅行に行く”と言い残し、彼女が行った所はシンガポールだったりする。しかし、庶民的な面も大いにあり、下級生からも慕われている。今年も4回生として女子面をひっぱり切ってください。

北 知寿子(神薬女・蝶・四条畷高) 我が部の中で数少ない他大学からの部員である彼女は、上回生の間では、その性格をある一言で表現できるらしい。入学当初、我々にはさっぱり分からなかったのだが、突然、「私って××××に見える??」自

らを暴露してしまう失態を犯してしまうところは、まさに彼女だと納得させられる。そういう彼女もとうとう今年で最後のシーズンとなってしまった。彼女ご自慢の華麗なる泳ぎで、がんばって再びインカレに出場できるよう活躍を期待したい。

武田 直子（文・マネージャー・御影高） サラリーマン顔負けの月収を誇る彼女は、その財力に物を言わせ、車を購入した。しかし西武警察真っ青のカースタントを繰り広げ、大事故を起こしてしまった。だが、立ち直りの早い彼女は、すぐさま、ブルーバードを購入し、貧乏な僕達をくやしがらせたのである。さらにパルコを乗りまわし、ビジネス用と、レジャー用に使いわけしているらしい。華やかなマネズの頭として、苦勞も多いだろうが、マネージャー業をがんばってくれるだろう。

（3回生）

上田 純也（経・自・加古川東高） 彼の名は「ダビ」。「ダビング」好きからこの名は由来している。もちろん、何を「ダビング」するかは賢明な読者にはおわかりであろう。そのせいであろうか(?)彼は腰を痛め、昨シーズンを棒にふってしまった。それだけでなく、彼は危うくも同回生P氏同様一年を棒にふるところであったのである。彼はたまに練習に来る度ごとにいつも「ノート貸して」とご自慢の泣き顔を武器に同情を誘い、二回生Iを犠牲者にし、単位を奪ってまで「仮進」の座をようやく得たのであった。しかし一見頼りなさそうに見える彼も三回生の数少ない競泳面であり、今シーズンは故障なく、頑張っしてほしいものである。

門 謙次（教・水球・茨木高） 彼は超大型である。顔もでかいし体もでかい。おまけに「ガハハハ」という笑い声は、どこにいても彼だとわかる。また彼はパートタイム・スチューデントなので、水泳部の長者番付にのるほど金をもっている。何をやっても豪快な彼だが、バイク盗まれてからは、足腰が弱っていることに気付き、いつでもどこでもテクテクと歩いているそうだ。今年は仕事よりも水泳を中心として水泳部の柱としてがんばってくれるだろう。

高橋 一弘（理・水球・鳥羽高） 「プリプリバホプリプリプリ」「パンチョさんきたない!」「す、す、すまんケアーしててんけどな、音出しても一た」トイレから響いた音は一部屋通りこして聞こえるほどすさまじい。おしりもよくしゃべれば口もよく動く。なにしろ眠りにつく1分前まで何かをしゃべらなくてはおちつかないらしい。彼が酒にようともっとちがわるい。なにしろ同じことを十回、二十回とくり返すのである。おまけに手ぐせも悪くコンパ会場のスプーンから座布団まで

全部カバンにしまいこんでしまう。一回生某二名のオモチャである彼も今年は二回目の二年だしマクド梅田店店長の座を目指して頑張ってもらいたい。(好きほうだいでスママセン)

竹田 匡志(経・蝶・畝傍高) メニーピープル コール ヒム ダニー。彼は一年中クラブのために貢献している。シーズン中は長身をいかし、バタフライにフリーレーにと、あらゆる試合に出場し、結果を出す競泳のエースである。またオフの間は、彼の部屋はジャンルームと化し、毎日深夜まで来客が絶えない。しかし彼の下宿には同居者がいる。それは午前2時ごろマージャンをしているところそこそと動きだし、チュウチュウと鳴き出すのである。しかしそれら3匹家族のうち2匹が彼のお縄をちょうだいし、いまは一匹狼ならぬ一匹鼠である。彼と、それ(ルームメイト)と、そのライバルである猫の三者の対決は今後見物である。今年も競泳のエースとして大活躍してもらおうとともに水球の方にも力を入れてってもらいたいものである。

長谷川 哲也(農・水球・茨木高) 昔はよく遊んでいた彼もクレープを売り出したころから真面目になり最近バチンコも競馬もやめ収入源は一回生からまき上げる麻雀の勝ち分である。しかし金使いがあらいであせってバイトをする。こんな彼も水の中に入れば一汗、二汗おしまずにすばらしいループシュートを連発する我が水球チームになくってはならない人物である。

藤川 壮太(法・水球・茨木高) 彼はアメリカに留学経験をもつインターナショナルな男である。常に冷静でさわやかであるが、理論だてた口うるささは、人によっては嫌な奴にみえるだろう。彼の趣味は筋トレである。水泳よりも筋トレを好む彼の体は筋肉のかたまりで、ベンチプレスはmax100kgを超える。練習嫌いでケガの多い奴ではあるが、今年はずばらしい反射神経でシュートをバシバシとめてもらいたい。

渡辺 雅人(工・水球・広島学院高) ナベさん愛してます。僕のこんな一途な愛に気付かずに上新庄の別宅ばかりに行くのですね。京都でバラ族を見せると逃げて行ったのでその趣味はないのですね。でも水球をしている時のナベさんはすてきです。あの力強いシュート。あのスピードあるドライブ。シビレルー!彼女のためだけにあのプレーを見せるのではなく、彼女が来ていない時もあれくらい頑張ってください。
かしこ

小笠原 恭子(営・自・西尾高) 彼女は皆にサム子と呼ばれているが、私には

なぜそう呼ばれているのかよくわからない。彼女は一時変わった髪型をしていた。なにが彼女をそうさせたのだろうか。M氏の趣味であったのだろうか。その辺は皆さんよくご存じだろうと思いますので敢えて触れません。小柄な彼女であるが、パワフルな泳ぎで試合ではたいい入賞する。2回の男子はほとんどけちされてしまっている。今年も女子のリーダーの一人としてフリーにいつそうみがきをかけてもらいたい。

齊藤 雅子（教・自・宝塚東高） いつもニコニコしつつ冷静さを失わない彼女は下級生の面倒もよく見てくれる優しいお姉さんです。仕事もしっかりこなし、コンパの時にはいつも介抱する側にまわっている彼女は、もちろん水泳の面でもとても練習熱心で、初心者だったとは思えないほどの美しいフォームでぐんぐんタイムも伸ばしています。今年は水泳の時だけでなく、コンパでも隠れたPowerを見せてほしいものです。介抱はちゃんとしますから。

寺井 美穂子（文・蝶・石山高） 他の女子面が原付に乗っていて派手にこけている中、1人だけまだこけていない彼女は、本当に美しい。しっかりしていて落ち着いていそうに見えるが、実は夜の六甲台にたたくむイノシシを一目見ようと部室から飛び出した所、プールサイドで派手にこけてしまったというお茶目な一面もある。水泳においてはみなさまご存じのとおり、六甲台をかけぬけるイノシシのごとくプールを泳ぎぬける彼女はやはり、今年も女子面の大黒柱としてバンバン点数を稼いでもらいたい。

（2回生）

磯山 正則（法・水球・大安寺高） 一見したところ、おとなしそうに見える彼であるが、酔うとすごいパワーを発揮する。（これは岡山人の本来の姿であろうか？）また、彼の下宿について、話している間は笑い話ですむのだが、実際にそこを訪れた人々は、涙を流さずにはいられないらしい。そんな彼も、今年からは下宿を変えるそうである。それを機に心機一転し、酔った時のように水球、競泳の両面でそのPowerを爆発させてもらいたいものである。

井上 泰弘（法・水球・宮崎南高） 水球も競泳も巧みにこなす、未知の潜在能力を秘めた将来有望な期待の新人。水球の練習を一生懸命にこなすことによって、泳力がつき、ひいては速く泳ぐことができるようになるだろう。また速く泳げることによって、水球の試合でも見事な結果を残すことが出来るだろう。こうした相乗効果によって彼は二回生を代表する水泳選手となることまちがいない。人一倍努力する姿勢、人並はずれた集中力、強靱な肉体と精神を有する彼の手の内に、水泳部の将来がある

といっても過言ではないだろうと思う。水泳部一同今後の活躍に期待している。

河原 知成(経・自・英国立教学院) 彼は国際派だ。タイ、イギリス、ベルギーを点々としていた。高校の名前が立教ハイスクールイン・イングランドということからもうかがえよう。酔うと英語やフランス語などで叫びだす。彼としゃべると外国ネタがぼんぼんとびだし我々を楽しませてくれる。彼は3回のマサ斎藤さんと同様、前田アキラというリングネームをもつ。コンパではバックドロップなどを見せてくれるであろう。今年は競泳をひっぱって、短距離での活躍に期待したい。

北中 宏一(農・水球・三国丘高) 彼は“まめ”である。“まめ”といってもジャックのまめとは何ら関係がなく、もちろん“きちょうめん”ということである。例えば自分の収入・支出を毎日克明に記録してみたり、毎食のカロリーを計算してみたり、など。こうしたことからまさに彼こそが将来の会計係にふさわしい人材であると言っても言いすぎではないであろう。また彼は“ドライ”である。“ドライ”といってもビールのドライとは何ら関係がなく、もちろん“あっさり」と割り切る”ということである。例えば、自分の感情を殺したり、表に出さなかったり、など。将来水泳部を支える1人になっていくことだろう。(一部脚色された箇所があることを御了承ください。)

小柳 勝義(農・水球・茨木高) 二回生の中で唯一の水球経験者として、なかなか苦勞が絶えないようである。しょうもないギャグを連発し、周囲をあせんとさせることを得意技としているようである。また彼はKing ofおしゃべりと言われ、彼に秘密の話をすると、「これ絶対秘密やぞ、俺が言ったって言うなよ」と絶対に、人に話さずにはいられないらしい。彼は星占い、血液型占いを愛好している。ついに下宿を始めたらしいが、一切秘密にしており、これも彼の策師たる一面の表れなのだろうか。いろいろ書いたが、これからも苦勞が多いだろうが、水球に燃えてほしい。

鈴木 健太郎(工・水球・白陵高) 今日も鋭い眼光をたたえて、工学部から教養部へ上がってくる彼には、あの“健康と幸福”を祈ってくれる親切ながらも怪しい人々でさえも声をかけてくることはできない。そんな彼がプールに入ると塩素で目が充血し、もっと恐い目付きになってしまう。しかしそれがかえって相手を威嚇する上で役立つであろう。それを武器にしながら、バンバン相手を抜き去り、シュートを決めてもらいたいものである。

宮崎 浩司（工・自長・高津高） やあ、ぼくパンパン。いや、ブリ男かな。いろいろ呼ばれててわかんないや。ぼくは練習にこないのさ。理由は秘密さ。僕のまわりにはガツガツと強い風が当たるけどそんなの平気なんだ。たまにクラブに行くと高校の時の水泳部の自慢話をするんだ。でも誰も聞いてくれないから、さみしいの。誰か僕の自慢話を聞いてよ。昔はやせてたんだよ。今年はロングのベストを出してシェイプアップするんだ。期待しててね。

安井 努（教・水球・東宇治高） 某3回生Tさんの魅力に惑わされ、初心者でありながらいともあっさりと入部した彼であるが、2日目に彼の夢は打ち砕かれた。“ぼく、教育学部でよかった。んー？だって女子が多いもん”と言う彼は、市大戦では、市大のマネージャーから、しっかりと電話番号を聞き出していた。そんな彼ではあるが、元バレー部の強い肩から放つシュートは、スピード、コントロールともにすごいものがある。その力を発揮するためにも泳力もしっかりつけ今年はレギュラーの座を獲得できるよう、がんばってもらいたい。

池永 佳子（松蔭・自・光塩学院高） 彼女はちょっと見ただけでは、ほんとうにかわいらしい松蔭のお嬢さまである。しかし、その化けの皮はすぐに破られてしまった。プールに入れば、400mなどはこの部内で5本の指に入るのではないかと思われるほどである。そして“私は食べるのはとても速いのよ”と自慢し、パワ女にもよるこんで参加した。そのパワ女も去年は残念ながら決勝に進出できなかったので、今年こそ決勝に進出しそのパワーを発揮するために、またパワ女に参加していただきたい。

今村 美衣子（文・平・山城高） 彼女は水泳部の中でも得体の知れない異色の存在である。それは普段、口数が少なくおとなしい性格だからであろうか？しかし、外見とは違ってここ一番で引き出されるパワーは並々ならぬものがあり、プレ六甲祭では我が水泳部を激闘の末優勝に導いた立て役者である。もちろん水のうえでも彼女の活躍はめざましく、昨シーズンは決勝に数多く残るなど、女子面のプレのホープである。そして今シーズンは、去年のオリンピックで見せてくれたあの岩崎恭子ちゃんのように感動させるようなすばらしい泳ぎで、さらなる活躍を期したい。

岡 晶子（文・マネージャー・同志社高） 上品でおしとやかな彼女。そんな彼女な故にゆっくりしゃべるのである。ひたすらゆっくりしゃべるのである。そのslowlyさから、“彼女が『五秒前』と知っている最中に隣から『？本目、行きます』とい

う声が聞こえた”という話も生まれた。この話が事実か否かはわからないが水泳部にとっては貴重なマネージャーさん。これからも頑張ってください。

坂上 京子（営・自・茨木高） 彼女は悲劇のヒロインである。茨高水球部出身の彼女は、神大でも女子水球部が出来ると思って入部したのに、いっこうにその話が進まず、一年が過ぎ去ってしまった。その間も男子の水球の練習を横で指をくわえながら参加したそうに眺め、「坂上も入る？」と呼びかけると「うん!!」とうれしそうに加わるのである。しかも、彼女は小さいにもかかわらず、パワフルな泳ぎでフリーの中距離をイーブンペースで泳ぎ切っていた。今年からは水球専門のマネージャーになる彼女であるが、一日も早く彼女の希望どおり女子水球部ができて、主力として活躍してほしい。

立松 裕美（教・マネージャー・旭丘高） わたしたち二回生のなかで一番早く入部した彼女。水泳の経験があるため、いつ選手に転向するかと思われていたが、今ではマネージャーとして水泳部には欠かせない存在となっている。また、クラブ内では一、二を争うちっちゃな彼女だが、パワフルな一面をもっている。これからも武田さんの後を受け継いで同じく二回生の岡さんとともに、マネージャーとして頑張ってくれることを期待している。

現役自己ベスト一覧表 (下線は短水路)

自由形

<男子の部>	50 m	100 m	200 m	400 m	800 m	1500 m
上山 敏正	26-5	59-5	2-15-7			
木村 一也	26-6	57-84	2-08-0			
高倉 信之			2-17-63	4-46-1	10-15-6	19-48-65
西尾 泰紀		1-01-2				
松島 英樹						
山田 基洋		1-01-7	2-13-24	4-44-40	10-02-28	19-07-4
吉岡 晋一		1-03-2				
上田 純也		1-00-2	2-17-79	4-57-1		
門 謙次				5-14-1		
高橋 一弘					11-34-8	
竹田 匡志	26-3	57-75				
長谷川哲也						
渡辺 雅人	27-2	1-00-5		5-44-6	11-34-2	
藤川 壮太						
磯山 正則				5-59-6		
井上 泰宏				6-05-1		
河原 知成	28-1	1-04-7	2-34-3	6-00-4		
北中 宏一		1-13-6		6-01-1		
小柳 勝義				5-48-4		
鈴木健太郎				6-24-4		
宮崎 浩司		1-09-9	2-24-08	5-13-07	11-20-0	
安井 努	31-9	1-13-3		6-33-3		
<女子の部>						
上村麻由美		1-15-3				
北 知寿子		1-10-5	2-29-8	5-10-7		
小笠原恭子	30-69	1-07-77	2-30-20	5-28-1		
斎藤 雅子	37-1	1-24-39	3-08-65	6-27-4		
寺井美穂子	30-4	1-06-78				
今村美衣子	39-3	1-27-1	3-00-91			
坂上 京子	36-3	1-16-26	2-44-90	5-41-32		
池永 佳子	32-0					

バタフライ		背泳		平泳		個人メドレー	
100m	200m	100m	200m	100m	200m	200m	400m
		1-07-9	2-29-78				
						2-24-10	
	2-37-63						
				1-12-6	2-42-6		
				1-17-2	2-48-92		
						2-44-44	6-01-20
					3-21-2		6-17-95
		1-29-1	3-16-8			2-59-0	
1-03-22						2-38-9	
						2-47-4	
					3-11-4	3-24-3	
						2-58-6	
					3-32-5		
	3-23-1			1-21-96	3-03-42		
		1-26-4	3-08-7				
1-09-71	2-34-08						
		1-26-30					
				1-48-0	3-53-2		
1-08-02	2-33-05	1-20-0	2-53-0			2-44-9	
				1-35-60	3-20-08		

100mバタフライ

1	小南 裕明	1-01-4 (L) S63
2	加藤 有道	1-02-9 (L) H3
3	竹田 匡志	1-03-2 (L) H4
4	当麻 尚正	1-03-5 (L) H2
5	吉岡 宏之	1-04-0 (L) S58
	坂田 純孝	1-04-0 (L) S49
7	高岡 英一郎	1-04-6 (L) H1
8	佐敷 定雄	1-04-8 (L) S48
9	郡 幸雄	1-05-0 (L) S60
10	東 圭紀	1-06-5 (S) S62

200mバタフライ

1	小南 裕明	2-16-1 (L) H4
2	加藤 有道	2-21-9 (L) H3
3	当麻 尚正	2-24-2 (L) H2
4	郡 幸雄	2-24-6 (L) S60
5	坂田 純孝	2-26-6 (L) S59
6	高岡 英一郎	2-27-3 (L) H1
7	佐敷 定雄	2-29-6 S48
8	吉岡 宏之	2-34-0 (S) S57
9	岡崎 憲之	2-34-6 (L) S62
10	山本 隆	2-35-2 (S) S53

100m背泳

1	徳永 守	1-06-2 (S) S62
		1-07-9 (L) S60
2	小笠原 朝隆	1-06-6 (L) S64
3	杉山 和弘	1-07-7 (S) S53
4	上山 敏正	1-07-9 (L) H4
5	吉田 不二彦	1-08-6 (L) S59
	井上 達晃	1-08-6 (L) H1
7	坂田 純孝	1-08-7 (S) S58
8	川原田 真	1-09-6 (S) S59
9	浅川 明弘	1-10-3 (S) S62
		1-10-5 (L) H2
10	太田 雅彦	1-10-9 (S) S56

200m背泳

1	小笠原 朝隆	2-26-2 (L) S63
2	井上 達晃	2-26-8 (L) S63
3	徳永 守	2-29-7 (L) S60
	上山 敏正	2-29-7 (L) H4
5	坂田 純孝	2-30-4 (S) S56
6	吉田 不二彦	2-31-2 (S) S58
7	杉山 和弘	2-34-1 (S) S54
		2-34-2 (L) S53
8	木村 多加緒	2-34-8 (S) S43
		2-37-0 (L) S43
9	酒井 正人	2-35-2 (S) S52
10	浅川 明弘	2-35-5 (L) H2

100m平泳

1	後呂 忠詳	1-10-5 (L) S61
2	西尾 泰紀	1-12-6 (L) H4
3	林 均	1-12-9 (S) S62
4	笠田 幸介	1-13-3 (S) H2
		1-14-4 (L) H1
5	長崎 真人	1-13-6 (S) S57
		1-14-0 (L) S58
6	鈴木 俊彦	1-14-2 (S) S42
		1-14-7 (L) S42
7	慈幸 弘樹	1-15-3 (S) S53
		1-16-8 (L) S53
8	浦野 俊明	1-15-6 (S) S58
9	守沖 敦	1-16-4 (L) S63
10	池辺 正雄	1-16-5 (L) S56

200m平泳

1	後呂 忠詳	2-37-9 (L) S60
2	長崎 真人	2-40-5 (L) S58
3	笠田 幸介	2-41-8 (L) H2
4	西尾 泰紀	2-42-6 (L) H4
5	林 均	2-43-6 (L) H1
6	平石 康	2-45-3 (S) S52
7	鈴木 俊彦	2-45-5 S43
8	有利 英明	2-45-6 S62
9	藤本 克彦	2-46-6 (L) H1
10	松島 英樹	2-48-9 (L) H3

200m個人メドレー

1	東 圭紀	2-20-4 (L) H2
2	木村 一也	2-24-1 (L) H3
3	当麻 尚正	2-25-8 (L) H2
4	小南 裕明	2-26-4 (L) H3
5	浦野 俊明	2-29-5 (L) S59
6	藤本 克彦	2-30-5 (L) H4
7	後呂 忠詳	2-31-0 (L) S60
8	原田 久富美	2-32-7 (L) S60
	小笠原 朝隆	2-32-7 (L) S63
10	慈幸 弘樹	2-33-0 (S) S52
		2-35-6 (L) S53

400m個人メドレー

1	東 圭紀	5-06-1 (L) S63
2	当麻 尚正	5-13-4 (L) H2
3	浦野 俊明	5-20-3 (L) S59
4	古谷 拓裕	5-20-7 (L) S63
5	藤本 克彦	5-22-2 (L) H4
6	山本 隆	5-25-9 (S) S53
		5-43-6 (L) S53
7	村田 功	5-34-6 (S) S62
8	久保田 勝己	5-38-4 (S) S56
9	原田 久富美	5-40-1 (S) S60
10	坂田 純孝	5-40-7 (L) S57
	三好 岳	5-40-7 (L) S60

400mメドレーリレー

- | | | | |
|---|----------------|--------|-----|
| 1 | 小笠原, 林, 小南, 東 | 4-19-2 | III |
| 2 | 上山, 西尾, 小南, 木村 | 4-19-9 | III |
| 3 | 小笠原, 林, 小南, 東 | 4-20-0 | S63 |
| 4 | 小笠原, 後呂, 郡, 須甲 | 4-21-1 | S61 |
| 5 | 徳永, 後呂, 郡, 川原田 | 4-21-6 | S60 |

400mリレー

- | | | | |
|---|-------------------|--------|-----|
| 1 | 竹田, 小南, 木村, 中畑 | 3-55-4 | III |
| 2 | 中畑, 木村, 東, 井上(聡) | 3-55-5 | II2 |
| | 中畑, 井上(聡), 木村, 東 | 3-56-3 | II2 |
| 3 | 川原田, 浜田, 原田, 後呂 | 3-56-5 | S60 |
| 4 | 井上(聡), 中畑, 加藤, 木村 | 3-56-9 | III |
| 5 | 川原田, 吉田, 浜田, 後呂 | 3-57-0 | S59 |

800mリレー

- | | | | |
|---|---------------------|--------|-----|
| 1 | 木村, 山田, 藤本(博), 加藤 | 8-46-5 | III |
| 2 | 当麻, 小南, 井上(聡), 東 | 8-47-7 | II2 |
| | 当麻, 井上(聡), 小南, 東 | 8-47-8 | II2 |
| 3 | 山田, 木村, 藤本(博), 小南 | 8-47-9 | III |
| | 山田, 木村, 小南, 藤本(博) | 8-49-6 | III |
| | 木村, 小南, 藤本(博), 山田 | 8-52-2 | III |
| 4 | 東, 占谷, 当麻, 小南 | 8-52-9 | S63 |
| 5 | 井上(聡), 東, 藤本(博), 当麻 | 8-53-3 | III |

<女子>

50m自由型

- | | | | |
|---|--------|-----------|-----|
| 1 | 寺井 美穂子 | 30-4 (L) | III |
| 2 | 小笠原 恭子 | 30-6 (L) | III |
| 3 | 村上 美和 | 30-9 (L) | S63 |
| 4 | 宮下 静子 | 31-8 (S) | II2 |
| 5 | 井上 優子 | 32-27 (L) | III |

100m自由型

- | | | | |
|---|--------|------------|-----|
| 1 | 寺井 美穂子 | 1-06-7 (L) | III |
| 2 | 小笠原 恭子 | 1-07-7 (L) | III |
| 3 | 川上 景子 | 1-07-9 (L) | S61 |
| 4 | 村上 美和 | 1-10-7 (L) | S60 |
| 5 | 坂東 美枝 | 1-11-7 (L) | S56 |

200m自由型

- | | | | |
|---|--------|------------|-----|
| 1 | 川上 景子 | 2-26-4 (L) | S62 |
| 2 | 小笠原 恭子 | 2-30-2 (L) | III |
| 3 | 寺井 美穂子 | 2-31-0 (L) | III |
| 4 | 坂東 美枝 | 2-32-6 (S) | S56 |
| 5 | 山口 執与 | 2-37-4 (L) | S60 |

400m自由型

- | | | | |
|---|--------|------------|-----|
| 1 | 川上 景子 | 5-15-2 (L) | S60 |
| 2 | 坂東 美枝 | 5-18-5 (S) | S56 |
| 3 | 小笠原 恭子 | 5-28-1 (L) | III |
| 4 | 山口 執与 | 5-28-7 (L) | S60 |
| 5 | 坂上 京子 | 5-41-3 (L) | III |

100mバタフライ

- | | | | |
|---|--------|------------|-----|
| 1 | 寺井 美穂子 | 1-08-0 (L) | III |
| 2 | 坂東 美枝 | 1-14-3 (S) | S57 |
| 3 | 川上 景子 | 1-20-9 (L) | S60 |
| 4 | 宮下 静子 | 1-21-8 (S) | III |
| 5 | 大野 智恵 | 1-25-6 (S) | S52 |

200mバタフライ

- | | | | |
|---|--------|------------|-----|
| 1 | 寺井 美穂子 | 2-33-0 (L) | III |
| 2 | 坂東 美枝 | 2-44-7 (L) | S57 |
| 3 | 川上 景子 | 3-00-7 (S) | S60 |
| 4 | 大野 智恵 | 3-26-9 | |
| 5 | 嶋田 陽子 | 3-32-4 (L) | S55 |

100m背泳

1	村上 美和	1-16-8 (L) S61
2	寺井 美穂子	1-20-8 (S) H4
3	坂東 美枝	1-21-7 (S) S58
4	寛 明子	1-23-8 (L) H2
5	加地 恵	1-24-7 (L) S61

200m背泳

1	村上 美和	2-48-4 (L) S63
2	寺井 美穂子	2-53-0 (S) H3
3	坂東 美枝	2-58-6 (S) S56
4	寛 明子	2-59-3 (L) H2
5	加地 恵	3-04-8 (L) S61

100m平泳

1	宮下 静子	1-27-5 (L) S63
2	松井 玲子	1-30-2
3	川島 えみこ	1-32-0 (S) S56
4	国本 温代	1-33-1 (S)
5	坂東 美枝	1-33-8 (S) S56

200m平泳

1	川上 景子	3-06-2 (S) S61
		3-10-2 (L) S60
2	宮下 静子	3-12-6 (L) S63
3	川島 えみこ	3-16-6 S58
4	坂東 美枝	3-17-6 (S)
5	今村 美衣子	3-20-0 (L) H4

200m個人メドレー

1	寺井 美穂子	2-44-9 (S) H3
2	川上 景子	2-45-5 (L) S60
3	坂東 美枝	2-54-5 (L) S56
4	村上 美和	2-54-8 (L) S61
5	宮下 静子	2-55-2 (S) S63

400m個人メドレー

1	川上 景子	5-53-0 (L) S62
2	坂東 美枝	6-04-0 (S) S56
3	村上 美和	6-35-2 (S) S61
4	石本 日和子	6-52-5 (L)
5	嶋田 陽子	7-00-9 (L) S55

400mメドレーリレー

1	小笠原, 今村, 寺井, 坂上	5-22-7 H4
2	村上, 宮下, 川上, 枝沢	5-23-1 S63
	村上, 宮下, 川上, 枝沢	5-26-9 S63
	村上, 宮下, 川上, 枝沢	5-27-2 S63
	村上, 宮下, 川上, 枝沢	5-27-5 S63
3	村上, 山口, 川上, 木村	5-31-1 S60
4	加地, 三住, 坂東, 木村	5-35-6 S59
5	小笠原, 宮下, 寺井, 中山	5-35-8 H3

200mリレー

1	寺井, 坂上, 井上, 小笠原	2-06-9 H4
2	木村, 山口, 村上, 川上	2-08-3 S60
3	宮下, 枝沢, 村上, 川上	2-08-6 S63
	宮下, 枝沢, 村上, 川上	2-09-1 S63
4	川上, 村上, 加地, 林	2-09-8 S61
5	村上, 川上, 加地, 枝沢	2-11-8 S62

400mリレー

1	寺井, 坂上, 井上, 小笠原	4-41-1 H4
	寺井, 坂上, 井上, 小笠原	4-44-7 H4
2	川上, 村上, 山口, 木村	4-45-1 S60
3	川上, 村上, 加地, 林	4-50-1 S61
4	宮下, 枝沢, 村上, 川上	4-53-1 S63
	宮下, 枝沢, 村上, 川上	4-53-4 S63
5	寺井, 中山, 宮下, 小笠原	4-57-3 H3

平成5年度 凌泳会役員

(注) アンダーラインは新任

会 長	吉野 榮 (昭15学)	
副 会 長	岡本 忠男 (昭17学)	田淵 五郎 (昭30営)
監 事	三宅 林 (昭21学)	小原 祥男 (昭29営)
幹 事	佐藤 一夫 (昭30法)	富岡 道雄 (昭31営)
幹 事	岡田 重義 (昭37営)	萩原 武 (昭37工)
	上田 剛弘 (昭56営)	
	石井 義章 (昭27学)	凌泳編集担当
	金 一波 (昭59経Ⅱ)	現役監督担当
	加地 恵 (昭63法)	会計担当
右 答 顧 問	小山賢之助 (昭 7学)	
顧 問	伊藤 英三 (昭13学)	山口 宗樹 (昭16学)
支 部 幹 事		
(関 東)	支部長 田淵 五郎 (昭30営)	
	黒田 英雄 (昭35営)	
	鈴木 正弥 (昭39経)	佐敷 定雄 (昭49農)
	三好 岳 (昭62法)	村田 功 (平 2営)
(中 部)	支部長 井上 隆史 (昭37営)	
(中 国)	支部長 今井 政一 (昭24専)	
(四 国)	支部長 中村 市治 (昭15学)	
(九 州)	支部長 印藤 勝美 (昭18学)	
(関 西)	支部長 佐藤 一夫 (昭30法)	
	京都 柳木 正雄 (昭37営)	
	阪神 橋本 力 (昭30工)	酒井 正人 (昭53農)
	姫路 山口 仁郎 (昭32営)	
運営委員	三宅 林 (昭21学)	石井 義章 (昭27学)
	富岡 道雄 (昭31営)	岡田 重義 (昭37営)
	丸山 昱也 (昭40工)	玉置 明 (昭45経)
	長谷川 健 (昭49経)	平石 康 (昭53教)
	金 一波 (昭59経Ⅱ)	甲野 賢 (平 1理)

編集後記

ここ数年、本誌のページ数が次第に増加し、加えて物価の上昇に依りその発行費用が会財政を圧迫する恐れが生じて参りました。そこで何とかこれを圧縮したいと考え、本年度は会員名簿欄を削除し、異動のみ掲載する事にしました。皆様にはご不便をおかけする事と存じますが、悪しからずご了承願います。尚、来年度は別冊で名簿を発行し、以後数年おきに作り替え、その間は異動のみ掲載する事にしたいと考えております。ご意見、ご要望等御座いましたら小生までお聞かせ下さい。

一方、学生諸君も自主的にワープロを打ち印刷費用の節減に協力してくれました。一部不揃いな所もあるかと思いますが併せてご了承願います。

凌霜編集幹事 石井義章

今回いろいろな規制が生じ、そのため、全くの素人である私達は、印刷所の人や石井さんのアドバイスを参考にしながら、編集に悪戦苦闘しました。費用節減の為に、慣れないワープロで原稿を打った為、ご不満に思われる事が多々あると思います。ひとえに、こちらの不手際ですが、どうかそこはご了承願います。

編集を通して、『凌泳』に課せられた役割、価値をひしひしと感じました。大幅にカットした部分については大変残念に思います。

御気付きの点や御意見がございましたら、水泳部まで御連絡ください。特に勤務先変更、住所変更の際には、御連絡下さいますよう宜しくお願いします。

最後になりましたが、多大の御尽力を賜りました石井凌泳編集幹事、並びに御投稿下さいましたOB諸兄に感謝致します。

凌泳編集責任者 小笠原 恭子・斎藤 雅子

原 稿 募 集

「凌泳」誌は会員相互の連絡と親睦を図り、併せて現役部員とOBとの連繋を強化するための機関誌です。本誌をより楽しい物にするため多数の方々の御投稿をお願い致します。

原稿は400字詰め原稿用紙に横書きで5枚(2,000字)以内を原則とします。ワープロの場合は横書き一行40字に願います。

特に人名や固有名詞は正確、明瞭にお書き下さい。卒業年を付記する場合は、(昭19学)(昭24専)(昭30営)等の形に願います。新制学部の略記は、経、営、法、文、理、工、農、教、医、発、国、(平成5年度から、発達科学部、国際文化学部が開設)とします。

原稿締切は毎年2月末日、発行は5月中旬です。

原稿の送り先は、神戸大学水泳部、または凌泳編集幹事宛てに願います。

以 上
(凌泳会編集幹事)